

平成 28 年 度

事業報告書
及び附属明細書

目 次

平成28年度事業報告書	1
平成28年度事業報告書附属明細書	
第1 概 要	11
第2 事業実施状況	12
基本方針Ⅰ 法人運営機能の強化	
推進目標1 組織推進体制・経営力強化	12
基本方針Ⅱ みんなで育む福祉のまちづくり	
推進目標1 県民の福祉への理解促進と福祉の心の醸成	16
推進目標2 地域福祉活動の振興	20
推進目標3 ボランティア活動の振興	26
推進目標4 関係機関・団体との連携・支援の推進	32
基本方針Ⅲ 一人ひとりの自立生活づくり	
推進目標1 高齢者の社会参加の促進	39
推進目標2 高齢者への生活支援の充実	43
推進目標3 障害者の社会参加の促進	45
推進目標4 生活の安定への支援	46
基本方針Ⅳ 利用者主体の福祉サービスづくり	
推進目標1 福祉サービス利用者の権利擁護の推進	52
推進目標2 福祉サービス利用者の苦情解決支援の充実	61
基本方針Ⅴ 福祉を支える人づくり	
推進目標1 福祉従事者の確保・就労の促進と働きやすい職場づくりへの支援	65
推進目標2 介護の理解促進と知識・技術の普及・促進	73
推進目標3 福祉従事者の養成と資質向上の推進	76

平成28年度
事業報告書

目 次

平成 28 年度事業報告書

1	新たなニーズに応える取組	3
2	社協活動啓発・広報活動の強化に向けた取組	6
3	他団体との協力・連携促進に向けた取組	6
4	県社協組織の総合力発揮に向けた取組	6
5	事業評価等による取組	7
6	自主財源の確保に向けた取組	7

新潟県社会福祉協議会 平成28年度事業報告書

1 新たなニーズに応える取組

(1) 新潟県社会福祉協議会活動指針の推進

➤ 地域における権利擁護事業の推進

総合企画部会下に「地域における権利擁護事業の推進」小委員会を設置・開催し、成年後見制度普及促進事業の現状や課題を整理し、今後の方向性について検討、協議した結果を報告書として取りまとめ、部会へ報告

➤ 生活困窮者の自立支援と地域づくりの推進

① 生活困窮者自立支援事業に係る情報交換会の開催《新規》

12月14日 新潟市 参加者33名

② 社会福祉法人の公益性を活かした生活困窮者への支援

新潟県社会福祉法人経営者協議会の生活困窮者支援策である「にいがたセーフティネット事業」の検討支援

➤ 災害福祉広域支援ネットワークの推進

① 災害福祉広域支援ネットワーク協議会総会の開催

6月27日 新潟市

② 災害福祉広域支援ネットワーク協議会幹事会の開催

6月から3月にかけて4回開催 新潟市

③ 災害福祉支援チームの設置《新規》

福祉専門員67名による災害福祉支援チームを県内5地区に編成・設置し、3月1日にチーム研修会を開催

➤ 福祉職員研修受講支援事業の推進

① 研修情報提供事業

本会ホームページに、6福祉団体が主催する研修会を一体的に掲載し情報提供

② 研修履歴管理システム活用事業

本会ホームページ上に研修受講管理システムを構築し福祉職員のキャリアアップを支援

③ 福祉職員のための出前研修事業

外部研修への職員派遣が難しい小規模福祉施設・事業所（3カ所）に対して出前研修を実施



《災害福祉支援チーム員研修》

(2) 地域福祉における権利擁護の推進

➤ 日常生活自立支援事業

① 全市町村社協実施方式への移行に向けた取組み

- ・市町村社協事業担当課長・担当者会議《新規》4月27日 新潟市
- ・市町村社協連絡会議《新規》
8月に5会場で開催（新発田市・三条市・長岡市・十日町市・上越市）
- ・移行に向けた事業実施意向確認調査《新規》
9月に実施し、6市町村社協が平成29年度からの事業実施を希望
- ・市町村社協移行推進会議《新規》
10月に4会場で開催（新発田市・南魚沼市・小千谷市・長岡市）

➤ 成年後見制度普及促進事業

① 市町村長申立推進研修会の開催

- ・基礎編 新潟会場：11月1日 参加者168名／長岡会場：11月7日 参加者75名
- ・応用編 新潟会場：10月12日 参加者34名

② 法人後見推進研修会の開催

2月28日 新潟市 参加者64名

③ 法人後見専門員スキルアップ研修会の開催

3月9～10日 新潟市 参加者延べ128名

④ 制度推進連絡会議の開催

10月から12月にかけて6会場で開催

（魚沼市、上越市、新発田市、新潟市、三条市、長岡市） 参加者146名



《法人後見推進研修会》

(3) 総合事業など地域で支え合う仕組みの構築

➤ 新たな社会課題に対応する共生の仕組みづくり構築事業

① ひきこもりと地域と人のしんぼじうむ

6月26日 津南町 参加者104名

② 地域福祉推進セミナーinさど

10月21日 佐渡市 参加者52名

③ 支え合いのしくみづくり～Empathy Seminar in OJIYA～

8月23日 小千谷市 参加者87名

④ 広がれ、こども食堂の輪！全国ツアーにいがた

12月12日 新潟市 参加者110名

⑤ 支え合いのしくみづくりアドバイザー派遣事業《新規》

5月～3月 県内11社協に派遣

(4) 社会福祉制度改革への対応

➤ 社会福祉法改正への対応に関する市町村社協連絡会の開催《新規》

12月19日 新潟市

➤ 社会福祉法人制度改革対応セミナーの開催《新規》※新潟県社会福祉法人経営者協議会と共催

前期：7月29日 新潟市 参加者283名／後期：12月9日 新潟市 参加者261名

(5) 糸魚川市駅北大火及び平成28年熊本地震における被災地支援活動

災害	職員派遣先	派遣期間	派遣人数	支援内容
糸魚川駅 北大火	糸魚川市地域たすけあい ボランティアセンター	12月26日～ 1月29日	県社協延べ 69名 市社協延べ116名	総合調整班、ニーズ班、運営班
	糸魚川市社会福祉協議会	12月26日～ 12月29日	県社協延べ 6名	生活福祉資金緊急 小口資金臨時貸付
熊本地震	西原村災害ボランティア センター	6月22日～ 7月21日	県社協 3名 市社協 6名	調整グループ、受 付
	宇城市社会福祉協議会	5月15日～ 5月20日	県社協 1名 市社協 2名	生活福祉資金緊急 小口資金特例貸付

(6) 福祉人材確保の推進

➤ 福祉人材センター長岡支所の開設《新規》

開設日：平成28年4月1日

相談日時：毎週月～木曜日 10:00～15:00（事前予約制）

相談実績：相談者数：63名/求職登録者数：40名/就職者数：2名

➤ 人材確保・定着率向上事例調査の実施《新規》

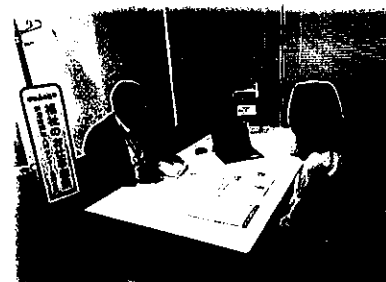
人材確保や職員定着に役立つ事例を調査・収集し、21事例を事例集として作成し
3,000部を高齢者福祉施設等へ配布

➤ 新たな啓発の実施《新規》

福祉の仕事に関する情報をフェイスブックや
ブログ等で発信

➤ 介護福祉士等修学資金貸付事業の実施

貸付件数：10件/貸付額：4,720,000円



＜福祉人材センター長岡支所＞

(7) 新たな貸付事業の実施

➤ ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業の実施《新規》

貸付件数：7件/貸付額：2,400,000円

➤ 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金事業《新規》

貸付件数：6件/貸付額：2,304,000円

(8) 介護知識・技術の普及・促進

➤ 認知症ケアステップアップセミナーの開催《新規》

新潟会場：1月26～27日 参加者28名/長岡会場：3月1～2日 参加者24名

(9) 福島県避難者支援事業

➤ 福島県避難者支援事業

避難者の生活再建を支援するため「福島県復興支援員」を配置し、避難者宅への戸別訪問を行い、相談支援にあたった。

契約期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

事業実績：訪問世帯数 79世帯 延べ訪問回数96回



<新潟県知事への共同要望>

2 社協活動啓発・広報活動の強化に向けた取組

(1) 福祉に関する県民の理解や関心の向上

> 第66回新潟県民福祉大会の開催

10月25日～26日 湯沢町

> 福祉・介護・健康フェア2016の開催

新潟市 11月13日 来場者16,020名／長岡市 11月23日 来場者 3,600名

(2) 情報発信・広報活動の充実

> 福祉団体とマスコミとの懇談会の開催

9月20日 新潟市 参加者15名（マスコミ3社・福祉団体12団体）

> 広報研修会の開催

9月26日 新潟市 参加者17名

3 他団体との協力・連携促進に向けた取組

(1) 福祉関係団体との連携・協働を基盤とした政策提言、予算要望活動の実施

> 福祉団体との共同による県知事及び県福祉保健部長に対する要望活動の実施

1月17日 参加団体11団体

(2) 大規模災害に備えた福祉広域支援ネットワークの構築

> 新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会の運営

・災害時における要配慮者支援体制の構築に向けた取組み

・災害福祉広域支援セミナーの開催 11月24日 新潟市 参加者141名

・防災訓練への参加・協力 10月30日 新発田市

・災害福祉支援チーム員研修《新規》 3月1日 新潟市 参加者59名

(3) 新潟医療福祉大学との包括連携協定に基づく事業の実施

にいがた医療・福祉スポーツセミナー 2月13日 新潟市 参加者80名

(4) 日本青年会議所にいがたブロック協議会との包括連携協定に基づく事業の実施

防災フォーラム 6月15日 三条市 参加者52名／6月22日 上越市 参加者43名

4 県社協組織の総合力発揮に向けた取組

➤ 県社協職員研修の充実

① スキルアップ研修

ア 新潟国際情報大学オープンカレッジ及び新潟県女性財団法人人材育成セミナー 参加者5名

イ 全国社会福祉協議会中堅職員研修会 参加者1名

② 組織力向上マネジメント研修

第1回：10月4日 参加者37名／第2回：3月2日 参加者42名

③ 実践研修

ア 新任職員実地踏査研修

児童養護施設 新潟天使園 参加者4名

特別養護老人ホーム 藤下 参加者4名

田上町社会福祉協議会 参加者3名

就労継続支援B型 ぶどう工房 参加者3名

イ 県外視察研修

大垣市社会福祉協議会 参加者2名

ウ 社会貢献実践研修 献血活動 参加者13名



《組織力向上マネジメント研修》

5 事業評価等による取組

➤ 新潟県高齢者大学の実践講座の充実

以下の実践講座において、受講者の関心の高いテーマを設定の上、開講。

・認知症予防脳活性・筋トレコース 修了者30名

・まちかどふれ愛英会話コース 修了者27名

➤ 福祉の店パレットの売上促進

売上目標：16,000千円／売上実績：13,479千円（対前年比109.3%）

➤ 社会福祉従事者研修事業における自主研修の拡充

① 社会福祉法人監事研修《新規》 7月21日 新潟市 受講者58名

② コーチング研修《新規》 11月7日 新潟市 受講者140名

③ 虐待防止・対策研修の開催《新規》 12月20日 新潟市 受講者128名

6 自主財源の確保に向けた取組

➤ 地域貢献活動を応援する企業・団体等の拡大と自主財源の確保（H29.3.31現在）

① 賛助会員の拡大 52団体・企業

② 福祉にいがた等の機関紙への積極的な広告掲載 掲載企業 4社

③ ホームページバナー広告の出稿促進 10企業・団体

④ 県社協封筒への広告掲載 掲載企業 6社

➤ ユニゾンプラザの賃貸収入増収に向けた取組み

- ・お客様専用ページによるインターネット予約手続き等の運用
- ・案内表示板の改善、会館の環境の美化

平成28年度
事業報告書
附属明細書

平成28年度事業報告書附属明細書

第1 概要	11
-------	----

第2 事業実施状況	12
-----------	----

基本方針Ⅰ 法人運営機能の強化

推進目標1 組織推進体制・経営力強化	12
--------------------	----

基本方針Ⅱ みんなで育む福祉のまちづくり

推進目標1 県民の福祉への理解促進と福祉の心の醸成	16
---------------------------	----

推進目標2 地域福祉活動の振興	20
-----------------	----

推進目標3 ボランティア活動の振興	26
-------------------	----

推進目標4 関係機関・団体との連携・支援の推進	32
-------------------------	----

基本方針Ⅲ 一人ひとりの自立生活づくり

推進目標1 高齢者の社会参加の促進	39
-------------------	----

推進目標2 高齢者への生活支援の充実	43
--------------------	----

推進目標3 障害者の社会参加の促進	45
-------------------	----

推進目標4 生活の安定への支援	46
-----------------	----

基本方針Ⅳ 利用者主体の福祉サービスづくり

推進目標1 福祉サービス利用者の権利擁護の推進	52
-------------------------	----

推進目標2 福祉サービス利用者の苦情解決支援の充実	61
---------------------------	----

基本方針Ⅴ 福祉を支える人づくり

推進目標1 福祉従事者の確保・就労の促進と働きやすい職場づくりへの支援	65
-------------------------------------	----

推進目標2 介護の理解促進と知識・技術の普及・促進	73
---------------------------	----

推進目標3 福祉従事者の養成と資質向上の推進	76
------------------------	----

平成28年度事業報告書附属明細書

第1 概 要

平成28年度は次の5本柱を基本方針に掲げ、新たなニーズへの対応や社協活動の啓発・広報強化、福祉団体との連携強化、事業評価を踏まえた新規事業の充実などに重点的に取り組んだ。さらに、活動指針に基づき重点的かつ計画的に取り組む事業の推進を図った。

基本方針Ⅰ 法人運営機能の強化

活動指針に基づき、地域における権利擁護事業の体制整備に向けての検討や生活困窮者の自立支援と地域づくり、また、災害時の要配慮者の安全・安心を図るためのネットワークの構築や福祉職員の資質向上のための研修受講を支援する事業を推進した。

基本方針Ⅱ みんなで育む福祉のまちづくり

5年目となる「福祉・介護・健康フェア」では目標を大きく上回る来場者数を達成するとともに、福祉団体とマスコミとの懇談会を開催するなど、広報・啓発活動を強化した。

新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会においては、災害時の要配慮者支援の仕組みのひとつとして、災害時に避難所等に派遣する福祉専門職による「災害福祉支援チーム」の編成や研修・訓練を実施した。また、平成28年熊本地震及び糸魚川市駅北大火災害ボランティアセンター等に対し、被災地支援のための職員派遣を行った。

基本方針Ⅲ 一人ひとりの自立生活づくり

高齢者の社会参加を進めて地域社会の活力を維持するため、「にいがたねりんピック」及び「高齢者大学」を実施するとともに、「高齢者大学」においては、引き続き卒業生のネットワークづくりに取り組んだ。

生活困窮者自立支援事業については、地域での支え合い活動等、重層的なセーフティネットの構築が一層必要となっているため、当該事業に取り組む市及び市社会福祉協議会へ支援を行った。また、低所得者等への資金の貸付けと必要な相談支援を行う生活福祉資金貸付制度を行った。さらに、新規に「ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業」及び「児童養護施設退所者等 に対する自立支援資金事業」を実施した。

基本方針Ⅳ 利用者主体の福祉サービスづくり

判断能力に不安のある方が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう支援する「日常生活自立支援事業」の実施体制を、基幹的社協方式から全市町村社協実施方式へと移行すべく県内社協との協議及び働きかけを行い、平成29年度からは現8基幹的社協の他、新たに6市町村社協が実施することとなった。また、急速な高齢化を背景に対象者の急増が想定される「成年後見制度」の普及を促進するため、行政、後見専門職、市町村社協等と協働で、地域における制度の利用促進に向けた体制整備に努めた。

基本方針Ⅴ 福祉を支える人づくり

県内の福祉・介護人材を確保するため、新潟県福祉人材センター長岡支所を開設した。また、無料職業紹介事業によるマッチング向上に努めるとともに、福祉の就職総合フェアやミニ面接会の開催、福祉の仕事に関する情報をフェイスブックやブログで発信し啓発事業などに取り組んだ。

福祉・介護施設で働く職員を対象とした研修事業においては、新規に「社会福祉法人制度改革」や「コーチング」、「虐待防止・対策」など、福祉動向や受講者のニーズに即した研修を実施した。

第2 事業実施状況

◎新規事業 ○見直事業・事項

基本方針Ⅰ 法人運営機能の強化

推進目標Ⅰ 法人推進体制・経営力強化

1 推進体制の確立

(1) 理事会

期日・場所	審 議 事 項
第1回 5月24日 新潟市	<p>[審議事項]</p> <p>第1号議案 平成27年度事業実施報告及び決算に関する件 第2号議案 評議員の改選に関する件 第3号議案 定款の一部変更に関する件</p> <p>[報告事項]</p> <p>① 社会福祉法の一部改正の概要について ② 新潟労働局長からの要請について</p>
第2回 1月24日 新潟市	<p>[審議事項]</p> <p>第1号議案 平成28年度第一次資金収支補正予算(案)に関する件 第2号議案 定款の変更に関する件 第3号議案 理事、監事及び評議員選任規程の改正に関する件 第4号議案 評議員選任・解任委員会運営細則の制定に関する件 第5号議案 評議員選任・解任委員の選任に関する件 第6号議案 評議員候補者の推薦に関する件</p>
第3回 3月23日 新潟市	<p>[審議事項]</p> <p>第1号議案 平成28年度第二次資金収支補正予算(案)に関する件 第2号議案 平成29年度事業計画及び収支予算に関する件 第3号議案 諸規程の改正に関する件</p> <p>[報告事項]</p> <p>① 新潟県社会福祉協議会定款の変更認可について ② 次期評議員の選任について ③ 社会福祉充実計画について</p>

(2) 評議員会

期日・場所	審 議 事 項
第1回 5月24日 新潟市	<p>[審議事項]</p> <p>第1号議案 平成27年度事業実施報告及び決算に関する件 第2号議案 役員の改選に関する件 第3号議案 定款の一部変更に関する件</p> <p>[報告事項]</p> <p>① 社会福祉法の一部改正の概要について ② 新潟労働局長からの要請について</p>
第2回 1月24日 新潟市	<p>[審議事項]</p> <p>第1号議案 平成28年度第一次資金収支補正予算(案)に関する件 第2号議案 定款の変更に関する件 第3号議案 理事、監事及び評議員選任規程の改正に関する件</p> <p>[報告事項]</p> <p>① 評議員選任・解任委員会運営細則の制定について ② 評議員選任・解任委員の選任について</p>

	③ 評議員候補者の推薦について
第3回 3月23日 新潟市	<p>[審議事項]</p> <p>第1号議案 平成28年度第二次資金収支補正予算(案)に関する件 第2号議案 平成29年度事業計画及び収支予算に関する件 第3号議案 諸規程の改正に関する件</p> <p>[報告事項]</p> <p>① 新潟県社会福祉協議会定款の変更認可について ② 次期評議員の選任について ③ 社会福祉充実計画について</p>

◎ (3) 評議員選任・解任委員会

期日・場所	審 議 事 項
3月13日 新潟市	<p>[審議事項]</p> <p>1 評議員の選任について</p>

(4) 監事会

期日・場所	監 査 事 項
5月16日 新潟市	<p>① 平成27年度事業の実施状況について</p> <p>② 平成27年度一般会計及び生活福祉資金に係わる会計の決算及び財産の状況について</p>

(5) 総合企画部会

期日・場所	協 議 ・ 報 告 事 項
11月10日 新潟市	<p>① 新潟県社会福祉協議会活動指針の進捗状況について</p> <p>② 要望活動の実施について</p>

(6) 会計実務実地指導

期 日	指 導 内 容
4月21日 4月22日 新潟市	<p>・平成27年度決算事務実地指導</p> <p>指導者 公認会計士・税理士 逸見 和宏</p>
11月28日 新潟市	<p>・平成28年度上半期会計事務実地指導</p> <p>指導者 公認会計士・税理士 逸見 和宏</p>

2 職員の育成・組織力向上

(1) 職員研修

期日・場所	内 容
10月4日 新潟市 (参加者37名)	<p>[第1回組織力向上(マネジメント)研修]</p> <p>・会長講話 ・研修委員長による講義 ・グループワーク</p>

	・まとめ
3月2日 新潟市 (参加者42名)	[第2回組織力向上(マネジメント)研修] ・糸魚川駅北大火に伴う糸魚川市社協支援報告 ・中堅職員研修受講報告(全国社会福祉協議会主催) ・大垣市社会福祉協議会への視察報告 ・グループワーク
通 年	[スキルアップ研修] ・全国社会福祉協議会中堅職員研修会を受講した。(参加者1名) ・新潟国際情報大学オープンカレッジ及び新潟県女性財団法人材育成セミナーを受講した。(参加者5名)
通 年	[実践研修① 新任職員実地踏査研修] ・社会福祉法人 新潟カリタス会 新潟天使園(4名) ・社会福祉法人 藤の木原福社会 特別養護老人ホーム 藤花(4名) ・社会福祉法人 田上町社会福祉協議会(3名) ・社会福祉法人 親和福社会 ぶどう工房(3名)
2月21日	[実践研修② 県外視察研修] ・社会福祉法人 大垣市社会福祉協議会(2名)
3月3日 新潟市	[社会貢献実践研修] ユニゾンプラザ入居団体に呼びかけ、献血バスによる献血活動に協力した。(参加者13名)
通 年	組織活性化かわら版「すくらむ」の発行 年4回

3 会館の管理運営

(1) 新潟ユニゾンプラザの管理運営

平成18年度より新潟県の指定管理者として、快適な環境のもとで利用が円滑に行われるよう施設の保守管理に万全を期すとともに、サービスの向上に努めた。

① 利用実績

貸室名	利用日数(利用率%)	利用回数(利用率%)
多目的ホール	178 (51.3)	342 (32.9)
大研修室	287 (82.7)	590 (56.7)
大会議室	264 (76.1)	525 (50.4)
中研修室	280 (80.7)	538 (51.7)
小研修室1	273 (78.7)	559 (53.7)
小研修室2	292 (84.2)	555 (53.3)
小研修室3	272 (78.4)	552 (53.0)
小研修室4	294 (84.7)	620 (59.6)
特別会議室	243 (70.0)	446 (42.8)
和 室	175 (50.4)	291 (28.0)
平 均	256 (73.7)	502 (48.2)

▶ 利用可能日数(開館日)347日、時間帯(午前、午後、夜間)、利用可能回数1,041回

② サービス向上、利用者ニーズの把握と施設運営への取組

- ▶ お客様専用ページによるインターネット予約手続き等の運用
- ▶ 案内表示板の改善、会館の環境美化
- ▶ 駐車場の管理・運営（舗装面修繕・照明ランプ交換・駐輪場整備等）
- ▶ 「お客様の声」箱の設置（常設）
- ▶ 利用者満足度アンケートの実施（年2回）
- ▶ 利用者懇談会の開催
- ▶ 接客マナー向上の取り組み・研修への参加

③ 利用者懇談会

期日・場所	協 議 事 項
11月15日 新潟市	・サービス向上のための改善措置状況 ・利用者アンケート調査の結果等について ・サービスの充実について（意見交換）

④ 利用者ニーズの反映・取組

- ▶ 利用実態に即応した休館日を設定した。
- ▶ 大会議室、大研修室に200インチ大型電動スクリーンを設置した。
- ▶ 大研修室のブラインド補修や小研修室の椅子の更新を実施し利用環境整備に努めた。
- ▶ 多目的ホール吊幕を清掃し劣化の防止及び環境美化に努めた。

⑤ 自主事業の取組

- ▶ 福祉用具の日（10月1日）のPR、福祉用具・啓発キャンペーンを実施（10月1日～31日）。
- ▶ 新潟まつり花火大会に合わせて、施設を一般県民に開放。

(2) 旧社会福祉会館の管理運営

本会と新潟県共同募金会が共有する旧新潟県社会福祉会館について、老朽化及び耐震性の問題から取り壊すこととし、その諸手続きを実施した。

基本方針Ⅱ みんなで育む福祉のまちづくり

推進目標1 県民の福祉への理解促進と福祉の心の醸成

1 新潟県民福祉大会開催事業

(1) 第66回新潟県民福祉大会

期日・場所等	内 容
10月25日 湯沢町	<p>[研究集会]</p> <p>第1研究集会 湯沢カルチャーセンター 「地域を支える担い手づくりのあり方を考える」 コーディネーター 新潟医療福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科助教 渡邊 恵司 シンポジスト NPO 法人新潟ねっと代表 村山 賢 新潟県アール・ブリュット・サポート・センター アートディレクター 角地 智史 胎内市福祉介護課地域福祉係 高橋 純子</p> <p>進行 新潟県社会福祉協議会地域福祉課主任 坂野 健一郎</p> <p>第2研究集会 ナ斯巴ニユーオータニ 「地域における権利擁護体制構築に向けた取り組み」 コーディネーター 新潟医療福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科長・教授 松山 茂樹 シンポジスト 南魚沼市社会福祉協議会生活支援係主事 田中 智史 南魚沼市社会福祉協議会 日常生活自立支援事業生活支援員 南雲 和彦 認知症の人と家族の会新潟県支部副代表 等々力 務 新潟県社会福祉協議会企画広報課主査 目崎 幹生</p>
10月26日 湯沢町	<p>[式典] 湯沢カルチャーセンター 新潟県知事表彰 7名、3組 新潟県社会福祉協議会長表彰 230名、7団体 新潟県共同募金会長表彰 58名、5団体</p> <p>[記念講演] 若返るのはどっち?～目からウロコのナグモ式若返り術～ ナグモクリニック総院長・医学博士 南雲 吉則 氏</p>

(2) 社会福祉関係者の表彰（新潟県社会福祉協議会長表彰）

表 彰 区 分	被表彰者数
① 民生委員児童委員表彰	166名
② 社会福祉活動優良団体表彰	6団体
③ 社会福祉活動者表彰	8名
④ 社会福祉事業協力表彰	1団体
⑤ 永年勤続表彰	56名

(3) 会長表彰選考委員会の開催

会長表彰選考委員会 9月29日 新潟ユニゾンプラザ3階 ボランティア交流室

2 福祉・介護・健康フェア開催事業

(1) 福祉・介護・健康フェア2016

一般県民の福祉に関する理解促進を図るため、新潟市社会福祉協議会及び新潟日报社と連携して「福祉・介護・健康フェア2016」を開催した。また、今年度は長岡市で新潟日报社主催で初開催された「福祉・介護・健康フェア2016in長岡」に対し、長岡市社会福祉協議会とともに事業協力を行った。

① 実施概要

期日・場所等	内 容
11月13日 新潟市 (来場者16,020名)	[メインステージ] ・杉田かおる氏 プレミアムトーク ・日本一、利益率の高いデイサービスモデルへの挑戦 ・認知症を「自分のこと」として考える ・いつまでもおいしく楽しく食べるために歯科ができること ・石川ひとみ氏 プレミアムトーク&ライブ [セミナーステージ] ・ともに作る地域～医療・介護と企業が連携する時代 ・弁護士によるまるわかり終活セミナー ・食べる前のストレッチ「健口体操」やりませんか ・孤独死予防啓発セミナー ・車いすダンス・キャラクターショー [協賛者セミナーステージ] ・出展協賛者によるセミナー：7社 [情報展示コーナー] ・出展団体(企業)：136社・団体/150ブース出展 [体験コーナー] ・ニュースポーツ体験コーナー(世代間交流事業) [介護技術コンテスト] ・7法人からの参加 [子ども広場] ・おもちゃ病院、木工教室(世代間交流事業) ・バルーンアート・新聞ロール紙お絵かきコーナー ・エコバッグ教室、折り紙教室

	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの本大展示 <p>[スノーホール]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟市社会福祉協議会発足60周年記念式典 ・絵本ワールド <p>[福祉の相談コーナー]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4ブース設置 <p>[福祉の店パレット周年祭]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出店施設（事業所）：29施設 <p>[被災地支援コーナー]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2ブース出展
<p>11月23日 長岡市 (来場者3,600人)</p>	<p>[ステージ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい病院の未来 ・佐藤ひらり氏 ピアノ演奏 ・もし認知症の予備軍と言われたらどうしたらよいか？ ・大災害に負けないために今やっておくべきこと ・タニタの健康セミナー ・食べる前のストレッチ「健口体操」やりませんか ・京谷 和幸氏による講演 <p>[情報展示コーナー]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出展団体(企業)：44社・団体／40ブース出展 <p>[体験コーナー]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いすバスケ <p>[子ども広場]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バルーンアート ・新聞ロール紙お絵かきコーナー ・エコバッグ教室、折り紙教室 <p>[健康相談会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8ブース出展

② 周知・広報活動

- ▶ 新潟日報紙面における広告掲載：14頁フルカラー1回、出展者募集全5段広告モノクロ5回、開催告知全5段広告カラー7回、2段5.25cm突出しカラー3回、事業告知1回、Otona+全4段カラー1回、assh全4段カラー1回、キャレル1回
- ▶ 福祉新聞紙面における広告掲載：全5段フルカラー1回
- ▶ 掲示・配付物：折込チラシ171,170部、ポスター1,500部、チラシ50,000部
- ▶ 各種リーフレット・雑誌等へのイベント広告掲載
- ▶ TV放送：12本
- ▶ ラジオ放送：開催告知152本
- ▶ デジタルサインage 放映：流作場五差路、ダムズ竹尾店・小新店、メディアシップ館内（マ

- ▶ イベント専用ホームページの運営

3 福祉情報提供事業

(1) 県社協ホームページの運営

各担当部署による適切な情報提供を実施した。バナー広告掲載箇所を増やすなど、より閲覧しやすいようデザインの変更をした。バナー広告掲載：平成29年3月末現在で10企業・団体。

(2) 新潟ユニゾンプラザ図書閲覧室の運営

福祉関係図書等の閲覧・貸出、ビデオ・DVDの貸出、パソコンによる福祉情報の提供を行った。県内福祉関係施設や社会福祉協議会の機関誌を整理し開架した。また、福祉関連記事のスクラップを開架し一般の利用者が閲覧できるようにした。

【利用実績】

事 項	利用実績
利用者数	4,361名
利用登録者数	3,737名
図書貸出数	401冊
視聴覚資料貸出数	88点
相談件数	31件

(3) 福祉団体とマスコミとの懇談会

顕在化するさまざまな福祉課題に対処するため、福祉団体とマスコミとの情報交換や両者間でのパイプづくりの場を設け、活発な議論が交わされた。

- ▶ 9月20日（火）参加者＝マスコミ3社3人・福祉団体12団体12人

(4) 広報アドバイザー派遣事業

福祉施設・団体が発行する広報誌の製作等に関し助言を行うアドバイザーを派遣した。

施設・団体名	内 容
新潟県保育士会 新潟県老人クラブ連合会	「会報誌作成における編集作業の要点と進め方」 各クラブ発行の広報誌審査と講評

(5) データブック「新潟県のふくし」の作成・配布

県内の福祉関係者・団体の活動に役立てることを目的に、県内の福祉に関する基礎的データを集約した「新潟県のふくし」を作成し、第66回新潟県民福祉大会参加者等へ配布した。

- ▶ 作成部数：2,000部
- ▶ 内 容：世帯、高齢者、結婚・出生、児童、障害者、生活困窮・孤立等、社会への貢献意識等、福祉人材に関するデータ、指標でみる新潟県の姿

(6) 子ども版・新潟県の福祉データパンフレットの作成・配付

児童の福祉への理解や関心を促すため、県内の福祉に関する基礎データを小学校高学年向けに作成し、教育現場で福祉について考える教材の1つとして配付した。

- ▶ 作成部数：1,000部

4 機関誌発行事業

(1) 「福祉にいがた」の発行

民生委員・児童委員制度創設100周年に合わせて、29年1月号から1年間、同委員活動を紹介する連載を始めた。また、巻頭特集の充実に努めたほか、福祉の現状やそれに対する県社協の事業をはじめ、福祉の実践活動など幅広く紹介した。

▶ 発行実績：年9回、各15,000部 年3回（オアシス組み込み）、各20,000部

(2) 総合情報誌「福祉にいがた オアシス21」の発行

明るい長寿社会づくりを目的に、高齢者に関わる諸問題を中心に誌面を展開した。年間を通して24ページ建て（3月号は4ページ臨増）とし、一層充実した誌面の発行に努めた。

▶ 発行実績：年3回、各20,000部

◎(3) 月刊誌「キャレル」にPR記事掲載

広く県民に高齢者大学とねんりんピックの楽しさを伝え、参加者の掘り起こしを図ることを目的に、9月号(4ページ)、12月号(4ページ)、4月号(2ページ)の合わせて10ページの記事広告を掲載した。キャレルは県内で20,000部発行。

5 共同基金・たすけあい運動等推進事業

(1) 共同基金運動・歳末たすけあい運動の推進

社会福祉法第119条の規定に基づき、新潟県共同基金会に対し、募金の目標額及び配分方法等について意見具申をするとともに、募金運動の推進に積極的に協力した。

(2) 各福祉週間事業の推進

各種週間事業（子どもの日－児童福祉週間、老人の日－老人週間、障害者の日－障害者週間）について、ポスターの配布等を通じて県民の意識啓発に努めた。

推進目標2 地域福祉活動の振興

1 地域福祉活動推進事業・市町村社協活動支援事業

◎(1) 総合事業など新たな社会課題の抽出及び検討事業

市町村社協の「新しい総合事業」の進展について、市町村社協事務局長会議において県内の取り組み状況や課題を共有したほか、“支え合いのしくみづくりアドバイザー派遣事業”などをとおして、個別課題への取り組み支援を検討した。

◎(2) 新たな社会課題に対応する共生の仕組みづくり構築事業

① 生活困窮者自立支援事業に係る情報交換会

期日・場所等	内 容
12月14日 新潟市 (参加者33名)	活動報告「見附市における生活困窮者自立支援事業の取組」 見附市社会福祉協議会主任自立相談支援員 番場 大貴 情報交換 ①支援調整会議のあり方について ②支援の範囲について

② ひきこもりと地域と人のしんぼじょうむ開催

期日・場所等	内 容
6月26日 津南町 (参加者104名)	「魂の朗読ライブ」 「当事者達のトークセッション」 「ひきこもり支援のためのパネルディスカッション」 コーディネーター：新潟NPO協会事務局長 パネリスト：津南町民生委員 フォロネット代表 NPO法人新潟ねっと代表理事
	成宮 アイコ 井上 基之 尾池 紀一 関口 美智江 村山 賢

③ 地域福祉推進セミナーinさど

期日・場所等	内 容
10月21日 佐渡市 (参加者52名)	講演「下流老人から学ぶ今後の地域福祉」 講師：NPO 法人ほっとプラス代表理事 事例検討会「個を地域で支えるための専門職の役割」 講師：NPO 法人ほっとプラス代表理事 スポンサー 新潟県立大学人間生活学部子ども学科准教授 新潟青陵大学福祉心理学部社会福祉学科准教授
	藤田 孝典 藤田 孝典 小澤 薫 李 在億

◎④ 支え合いのしくみづくり ～Empathy Seminar in OJIYA～

期日・場所等	内 容
8月23日 小千谷市 (参加者87名)	講演「1つの声をみんなでカタチに ～地域が変わる ふくしの力で～」 講師：社会福祉法人ゆうゆう理事長
	大原 祐介

⑤ 支え合いのしくみづくりアドバイザー派遣事業

期日・場所等	内 容
5月13日 ～ 3月18日 県内11社協	団塊の世代が75歳を迎える2025年以降の日本の姿を見据え、住民相互の支え合いを基本とした持続可能な福祉の仕組みづくりを地域の事情に応じて構築することを目的に、住民相互の助け合い活動の立ち上げ・基盤整備への助言、介護保険制度における生活支援コーディネーターや協議体設置に向けた助言、その他地域福祉活動計画の遂行や福祉教育推進への支援等、支え合いしくみづくりに寄与する事業へアドバイザーを派遣した。 ▶アドバイザー：支え合いのしくみづくりアドバイザー
	河田 瑠子

▶申請社協：県内11社協

市町村名	内容
小千谷市	◇障害福祉による支え合いのしくみづくり 障害福祉の立場から、地域の支え合いのしくみづくりを構築、あわせて、今後不足が予測される福祉人材の確保・人材定着を事業所毎ではなく、地域全体での取り組みを実施した。
十日町市	◇ボランティアセンター機能のマイナーチェンジ ボランティアセンターの機能強化を行い、従来の無償の活動だけでなく、住民相互の有償ボランティアのマッチング機能の強化、また、担い手養成のための方策を見出した。
見附市	◇地域住民による助け合い活動の担い手養成 担い手養成のための標準カリキュラムを開発した。
村上市	◇協議体設置の準備 多様なメンバーシップによる協議体を設置し、実際に機能する仕組みを作り上げた。
燕市	◇地域の居場所づくり 講演会等を通じて、活動希望者を発掘し、担い手として養成した。
阿賀野市	◇支え合い活動の立上げ 自治会単位を想定した支え合い活動の立上げのため養成講座を実施した。
魚沼市	◇担い手づくりのカリキュラムの開発 担い手づくりのノウハウの伝授、カリキュラムの開発を通じ、社協職員自身が担い手養成をできるスキルを習得した。
聖籠町	◇ふくしの結づくり「支援ネットワーク会議」 福祉関係者のネットワークづくりと住民組織化を一体的に図り、支え合いのしくみづくりに取り組んだ。
湯沢町	◇生活支援体制整備事業の実施 生活支援コーディネーターの役割の明確化と、機能的な協議体を設置した。

	<p>関川村</p> <p>◇地域福祉活動計画の推進</p> <p>地域福祉活動計画の推進のために、その基盤となるワーキングメンバーのスキルアップを図った。</p>
	<p>粟島浦村</p> <p>◇地域包括ケアシステム構築事業</p> <p>マンパワー的にも社会資源的にも不足している状況の中で、持続可能な福祉の仕組みについて検討した。</p>

⑥ 広がれ、こども食堂の輪！全国ツアーにいがたの開催

期日・場所等	内 容
12月12日 新潟市 (参加者110名)	<p>オープニングトーク「名付け親子ども食堂の原点を語る」</p> <p>講師：気まぐれ八百屋だんだん店主 近藤 博子</p> <p>トークセッション1「県内各地の取組事例」</p> <p>語り手：いちょう食堂 金子 光洋</p> <p>そらいろ子ども食堂 宮内 春花</p> <p>フードバンクしばた 土田 雅穂</p> <p>聴き手：全国老人給食協力会専務理事 平野 覚治</p> <p>トークセッション2「子ども食堂の日常を眺めてみる」</p> <p>語り手；ふじみ子ども食堂運営委員のみなさん</p> <p>聴き手：新潟県立大学人間生活学部子ども学科准教授 小池 由佳</p>

⑦ 地域の居場所ネット創出事業

支援を必要とする人も一人ひとりが住み慣れた地域で役割を見いだせる共生社会のあり方を考えるとともに、地域の実情に応じた今後の居場所のあり方を検討した。

ア「移動サービス担い手養成研修会」

期日・場所等	内 容
12月20日 新潟市 (参加者29名)	<p>講義①多摩市の全員参加型生活支援体制整備事業について</p> <p>講師：NPO 法人ハンディキャップゆづり葉地域支援担当理事 杉本 依子</p> <p>講義②訪問型サービスDの基本的理解</p> <p>講師：NPO 法人全国移動サービスネットワーク副理事長 河崎 民子</p>

イ「見附市生活支援サポーター養成研修」

期日・場所等	内 容
11月15日 見附市 (参加者8名)	<p>講義①住民参加の意義・理念</p> <p>講義②地域包括ケアシステムの概要と支え合い活動の意義について</p> <p>講師：支え合いのしくみづくりアドバイザー 河田 珠子</p>

◎(3) 社会福祉法改正への対応に関する市町村社協連絡会の開催

社会福祉法改正への対応状況や取組課題などの情報を共有し、もって適切な対応を図ることを目的に開催した。

期日・場所	内 容
12月19日 新潟市	<p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「法人社協モデル定款【最終版】について」 ・「全社協における対応について」 ・「県社協における対応について」 ・「都道府県・指定都市社協 社会福祉法人制度改革担当部課長会議 質問に対する回答について」 ・「県内市町村社協からの質問への回答について」 <p>報告 「県内市町村社協の対応状況について」</p> <p>情報交換会 「市部」・「町村部」に分かれての情報交換。</p>

(4) 市町村社協会長視察研修

県内の先進的な地域福祉活動等を視察し、社協事業全般について役員相互の意見交換等を行うことで連携・交流を深め、社協活動の推進に資することを目的に開催した。

期日・場所	内 容
9月15日～16日 新発田市 (参加者47名)	<p>視察「新発田市街視察」</p> <p>話題提供「新発田市社協の歴史とこれから」 新発田市社会福祉協議会 事務局長 藤間 啓子</p> <p>取組紹介「地域福祉(活動)計画を基盤とした取組を目指して」 新発田市社会福祉協議会 地域福祉課 課長補佐 川瀬 聖志</p> <p>展望「住民主体・参加型の地域福祉の推進に向けて」 新発田市社会福祉協議会 地域福祉課 課長 寺野 徹</p> <p>懇談・情報交換会 新潟県副知事 北窓 隆子 新発田市長 二階堂 馨</p> <p>話題提供・意見交換会「市町村社会福祉協議会と地域福祉事業」 敬和学園大学 共生社会学科長・教授 青山 良子</p>

(5) 市町村社協課題別研修会

市町村社協の地域福祉担当者等を対象に、階層別、課題テーマ別に業務推進に必要とされる知識や技術の習得を図ることを目的に研修会等を開催した。

① 社協・共募新任及び初級職員研修

期日・場所等	内 容
4月25日～26日 新潟市 (参加者32名)	<p>講義「社会福祉協議会概論」 新潟県社会福祉協議会地域福祉課長代理 中原 敦子</p> <p>講義「共同募金運動の今」</p>

	新潟県共同募金会係長	藤田 亨
	演習「アイスブレイクと導入」	
	新発田市社会福祉協議会地域福祉課長補佐	川瀬 聖志
	胎内市社会福祉協議会地域福祉係主事	河内 篤
	新潟県社会福祉協議会福祉人材課主事	山本 実央
	ミニトーク「駆け出し社協職員の挑戦」	
	聴き手: 関川村社会福祉協議会福祉活動専門員	平田 達哉
	語り手: 村上市社会福祉協議会総務課主事	島田 裕菜
	田上町社会福祉協議会事務員	車谷 唯
	講義「社会福祉協議会と災害支援」	
	新潟県社会福祉協議会地域福祉課主任	坂野健一郎
	演習「社会福祉協議会の働き方を考える」	
	上越市社会福祉協議会地域福祉係長	佐藤 貴規
	柏崎市西地域包括支援センターまちなか(柏崎市社協)	坂井 万里央
	長岡市社会福祉協議会地域福祉係主事	諸橋 克哉
	講義「社会福祉協議会の実務」	
	見附市社会福祉協議会地域福祉係長	齊藤 高史
	阿賀野市社会福祉協議会地域福祉課主任	石塚 貴之
	燕市社会福祉協議会地域福祉課主任	佐藤めぐみ

② 市町村社協事務局長会議

県内市町村社協の事務局長が一堂に会し、諸課題に対する議論を深めるとともに情報を共有することを目的に開催した。

期日・場所	協 議 事 項
6月14日 新潟市 (参加者37名)	① 平成28年度新潟県社会福祉協議会事業計画について ② 平成28年度市町村社会福祉協議会の重点事業等について ③ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法の一部改正の概要について ・ 新潟労働局長からの要請について ・ 子供版・新潟県の福祉データパンフレットについて ・ 市町村社会福祉協議会会長視察研修の実施について ・ 市町村社会福祉協議会に関係する行事予定 ・ 県内社協職員連絡会への加入について

③ 市町村社協事業課題別研修会

ア 生活支援コーディネーターと協議体のあり方を考える

期日・場所等	内 容
9月16日 柏崎市 (参加者60名)	活動報告①『地域住民が主役！支え合いのしくみをつくる体制づくり』 新潟市江南区社会福祉協議会副主査 大野 裕明 活動報告②『第2層生活支援コーディネーターの役割』

	上越市社会福祉協議会地域福祉係長 佐藤 貴規 上越市社会福祉協議会北支所主任 白倉由利枝 活動報告③『関川村生活支援体制整備事業～生活支援コーディネーター～』 関川村社会福祉協議会福祉活動専門員 平田 達哉
--	--

イ 福祉人材確保戦略セミナー

期日・場所等	内 容
11月26日 新潟市 (参加者65名)	講演『福祉楽団に学ぶ福祉人材確保の取り組み』 社会福祉法人福祉楽団人事採用プロジェクト担当/杜の家なりた施設長 在田 創一 ワークショップ『職場の魅力を伝えるためのワークショップ』 一般社団法人FACEtoFUKUSHI 事務局長 岩本 恭典

④ 広報研修会

期日・場所等	内 容
9月26日 新潟市 (参加者17名)	講義・講座「読ませるレイアウトとネットの活用」 講師 新潟日報社 デジタル推進部編集担当部長 吉岡 和彦

(6) 福祉施策や動向に関する情報提供

① 新潟県社協メール情報の発信

市町村社協に新潟県社協メール情報を随時発信し、全国情勢等の福祉情報提供を行った。

▶ 配信数及び提供記事数：25回、136記事

推進目標3 ボランティア活動の振興

1 ボランティア活動・社会貢献活動推進事業

(1) ボランティア推進フォーラム

① 広がれ、こども食堂の輪！全国ツアーにいがたの開催（再掲）

期日・場所等	内 容
12月12日 新潟市 (参加者110名)	オープニングトーク「名付け親子ども食堂の原点を語る」 講師：気まぐれ八百屋だんだん店主 近藤 博子 トークセッション1「県内各地の取組事例」 語り手：いちよう食堂 金子 光洋 そらいろ子ども食堂 宮内 春花 フードバンクしばた 土田 雅穂 聴き手：全国老人給食協会専務理事 平野 覚治 トークセッション2「子ども食堂の日常を眺めてみる」 語り手：ふじみ子ども食堂運営委員のみなさん

(2) 災害救援活動の推進

① 災害救援活動に関する人材養成事業（研修開催）

災害救援活動を的確に遂行できる社協職員の養成を目的に研修会を開催した。

〔災害支援コーディネーター養成研修会（新潟県災害ボランティア調整会議と共催）〕

ア 初級編

期日・場所	内容
2月16日～17日 新潟市 (参加者37名)	<p><1日目></p> <p>◇講義『初級研修のねらい』 講師 にいがた災害ボランティアネットワーク 李 仁鉄</p> <p>◇講義『災害支援とは』 講師 中越防災安全推進機構 河内 毅</p> <p>◇ワークショップ『災害ボランティアセンターの基礎』 講師 にいがた災害ボランティアネットワーク 李 仁鉄</p> <p>◇対談『運営支援者としてのスタンス』 ゲスト 全国社会福祉協議会 園崎 秀治 聴き手 にいがた災害ボランティアネットワーク 李 仁鉄</p> <p><2日目></p> <p>◇1日目の振り返り 講師 燕市社会福祉協議会：佐藤めぐみ氏</p> <p>◇講義・ワーク『ボランティアセンターにおける広報』 講師 南魚沼市社会福祉協議会 本多 博樹</p> <p>◇講義・ワーク『ケースワーク&被災者心理』 講師 にいがた災害ボランティアネットワーク 李 仁鉄 にいがた災害ボランティアネットワーク 野村 卓也 燕市社会福祉協議会 佐藤めぐみ 新潟市社会福祉協議会 鍋谷 隆史</p> <p>◇振り返り にいがた災害ボランティアネットワーク 李 仁鉄</p>

イ 中級編

期日・場所	内容
3月7日～8日 新潟市 (参加者38名)	<p><1日目></p> <p>◇講義『中級研修のねらい』 講師 にいがた災害ボランティアネットワーク 李 仁鉄</p> <p>◇講義『災害支援とは』 講師 中越防災安全推進機構 河内 毅 発表者 新潟市西区社会福祉協議会 小林 幸 発表者 新潟市秋葉区社会福祉協議会 皆川美穂子</p> <p>◇ワークショップ『官民の連携のあり方』</p>

<p>ゲスト 元柏崎市職員 白川 信彦</p> <p>聴き手 にいがた災害ボランティアネットワーク 李 仁鉄</p> <p>◇講義・ワーク</p> <p>『災害ボランティアセンターにおける広報と情報発信・管理』</p> <p>講師 東京ボランティア・市民活動センター 加納 佑一</p> <p><2日目></p> <p>◇1日目の振り返り</p> <p>講師 燕市社会福祉協議会 佐藤めぐみ</p> <p>◇パネルディスカッション『被災者支援における専門職団体との連携』</p> <p>ゲスト(児童) 多世代交流館になニーナ 佐竹 直子</p> <p>ゲスト(障害) 社会福祉法人みんなでいきる 片桐 公彦</p> <p>ゲスト(高齢) 高齢者総合ケアセンターこぶし園 吉井 靖子</p> <p>聞き手 くびき野NPOサポートセンター 近藤 尚仁</p> <p>◇講義・ワーク</p> <p>『被災者コミュニケーションとスタッフコミュニケーション』</p> <p>講師 新潟NPO協会 井上 基之</p> <p>◇講義『支援における人・物・資金』</p> <p>講師 新潟県社会福祉協議会 佐藤 正弥</p> <p>◇振り返り</p> <p>にいがた災害ボランティアネットワーク 李 仁鉄</p>
--

② 県内社協における災害救援活動に関する相互支援協定締結社協の連絡名簿の整備

災害時において連絡調整を円滑に行うため、相互支援協定締結社協の連絡名簿を更新整備した。

③ 大規模災害に備えた市町村社協組織運営に関する重要書類の保管

大規模災害等で書類紛失に備え、県内全市町村社協の組織運営に関する重要書類である定款及び諸規程、役員名簿、事業実施報告書及び決算書、事業実施計画書及び予算書の保管、整備を行った。

④ 新潟県内における豪雪への対応

新潟県内の豪雪に対応するため、新潟県内における積雪・降雪及び被害状況、除雪ボランティア募集情報、除雪ボランティア活動状況の情報を収集した。

◎⑤ 「県内社協における災害救援活動に関する相互支援協定」に基づく「糸魚川市駅北大火」被災地支援のための職員派遣及び被災地支援活動

ア 糸魚川市災害ボランティアセンターへの運営支援者の派遣

糸魚川市社協からの支援要請に基づき、「糸魚川市地域たすけあい・ボランティアセンター」に職員の派遣を行った。

期間	社協名	派遣職員数	支援業務内容
12月26日～1月29日	新潟県社協	延69名	総合調整班、ニーズ班、運営班
	市町村社協	延116名	

<応援社協> 新潟市社協/長岡市社協/上越市社協/柏崎市社協/新発田市社協/

小千谷市社協／見附市社協／燕市社協／妙高市社協／阿賀野市社協／
南魚沼市社協

イ 情報収集・情報発信

被災地支援を行うため、市町村社協及び災害ボランティア関係団体にメール情報の配信を行った。

また、現地災害ボランティアセンターのボランティア募集状況等を、ホームページで情報発信を行った。

ウ 災害ボランティアセンター活動資金の寄付

災害ボランティアセンター活動資金として、糸魚川市社協に寄付を行った。

◎⑥ 「関東甲信越静ブロック都県・指定都市社協災害時の相互支援に関する協定」等に基づく「平成28年熊本地震」被災地支援のための職員派遣及び被災地支援活動等

ア 災害ボランティアセンターの支援活動

- ▶ 西原村災害ボランティアセンターへの運営支援者の派遣

熊本県社協からの支援要請に基づき、「西原村災害ボランティアセンター」に職員派遣を行った。

期間	社協名	派遣職員数	支援業務内容
6月22日～7月21日	新潟県社協	1名 (6/22～27)	調整グループ、受付
	上越市社協	2名 (6/26～7/1)	
	新潟市社協	2名 (6/30～7/5)	
		2名 (7/4～7/9)	
新潟県社協	2名 (7/16～7/21)		

- ▶ 情報収集・情報発信

被災地支援を行うため、市町村社協及び災害ボランティア関係団体にメール情報の配信を行った。また、現地災害ボランティアセンターのボランティア募集状況等を、ホームページで情報発信を行った。

- ▶ 災害ボランティアセンター活動資金の寄付

災害ボランティアセンター活動資金として、熊本県社協及び大分県社協に寄付を行った。

イ 緊急小口資金貸付業務支援

全国社会福祉協議会からの要請に基づき、熊本県に新潟県内の社協職員を派遣し、現地で緊急小口資金の貸付特例貸付業務にあたった。

- ▶ 派遣先 熊本県宇城市社協
- ▶ 派遣期間 5月15日から20日まで
- ▶ 派遣職員（3人）新潟県社協、新潟市中央区社協、新発田市社協

(3) 民間社会福祉施設備品整備助成事業

民間社会福祉施設の備品等整備の充実を支援するため、社会福祉基金の運用益を助成した。

助成件数・額	助成対象備品・助成施設種別
15件 2,450,000円	<p>[助成対象備品]</p> 防火・防災対応に係る備品(発電機、防災カーテン、ヘルメット等)
	<p>[助成施設種別]</p> 認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護施設、 共同生活援助(グループホーム)

(4) 県民たすけあい基金運用益助成事業の推進

管理運営委員会において、基金の管理・運営・基金助成事業の実の方策等を審議し、基金事業の適正な管理・運営並びに助成事業の効果的な実施に努めた。

① 県民たすけあい基金管理運営委員会

期日・場所	協 議 事 項
第1回 7月11日 新潟市	<p>[協議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長及び副委員長の選任について ・平成27年度助成事業実施状況及び収支決算、平成28年度収支予算について ・平成28年度第2回助成事業の採択について
第2回 10月11日 新潟市	<p>[協議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度第3回助成事業の採択について
第3回 2月7日 新潟市	<p>[協議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度助成事業実施状況及び収支決算見込、平成29年度収支予算について ・平成29年度第1回助成事業の採択について

② 県民たすけあい基金運用益助成事業

ボランティアグループ等の活動を支援するため、活動に必要な経費を助成した。

助 成 事 業	助成件数	金額(円)
ボランティアグループ・団体が行う活動事業	40	12,918,000
学習・研修事業	(9)	(2,423,000)
福祉教育・啓発事業	(10)	(3,993,000)
調査研究事業	(0)	(0)
活動に必要な機器等整備事業	(11)	(2,522,000)
サービス活動事業	(10)	(3,980,000)
市町村社協・ボランティアセンターが行うボランティア活動振興事業	7	2,728,000
学習・研修事業	(1)	(486,000)
福祉教育・啓発推進事業	(2)	(418,000)
災害ボランティア活動推進事業	(2)	(500,000)

その他試行的・モデル的事業	(1)	(1,000,000)
ボランティア活動の拠点整備事業	(1)	(324,000)
◎東日本大震災避難者支援団体が行うボランティア活動振興事業	2	783,000
東日本大震災避難者支援事業	(2)	(783,000)
自殺予防支援事業	4	1,893,000
自殺予防支援事業	(4)	(1,893,000)
県社協が行うボランティア活動振興事業	1	1,500,000
ボランティア活動振興事業	(1)	(1,500,000)
合 計	54	19,822,000

(5) 寄付等の受入調整

企業等の社会貢献活動が積極的に行われるよう、福祉の現状等の情報を企業等へ提供するとともに寄付・寄贈や招待事業などの調整を行った。

寄付種別	寄付内容・寄贈配分先
現金18件 5,454,433円	社会福祉基金寄付金 2件 16,962円 ボランティア基金寄付金 1件 128,010円 ファンドレイジング福祉にいがた 2件 115,945円 社会福祉施設等指定寄付金 13件 5,193,516円 福祉施設 40件(高齢23、障害11、児童6)、ボランティア団体17件、社協1件
物品5件	車両、すし折詰、カップ麺、タオル、車椅子等施設備品 福祉施設40件、NPO法人3件

(6) 寄付のマッチング事業（ファンドレイジング福祉にいがた）

新潟県内に寄付の文化を根付かせ、福祉活動や地域活動等の自主財源の確保を通じて地域福祉の推進に寄与することを目的に寄付のマッチングサイト（ファンドレイジング福祉にいがた）を構築した。（平成28年10月稼働）

① ファンドレイジング福祉にいがた基金管理委員会

期日・場所等	協 議 事 項
第1回 1月16日 新潟市	・ 委員長、副委員長の選任 ・ ファンドレイジング福祉にいがた事業について ・ 助成事業の採択について ・ 登録団体審査について

② ファンドレイジング福祉にいがた活用研修会

期日・場所等	協 議 事 項
3月7日 新潟市 35名	講義・演習「ファンドレイジング福祉にいがたを活用しよう」 講師:NPO 法人明日育 常務理事・事務局長 長井 一浩

推進目標 4 関係機関・団体との連携・支援の推進

1 関係機関・団体との連携・支援事業

(1) 種別協議会や当事者団体等の連携・調整活動

① 福祉団体等懇談会

県内の福祉団体が相互の連携を深め、情報交換を図ることを目的に懇談会を開催した。

期日・場所等	協 議 事 項
第1回 6月2日 新潟市	① 行政説明 新潟県福祉保健部長 岡 俊幸 ② 情報交換 ③ 懇談
第2回 2月16日 新潟市	① 平成29年度新潟県福祉団体共同要望への対応状況について ② 行政説明 新潟県福祉保健部福祉保健課長 藤田 伸一 ③ 情報交換 ④ 懇談

② 福祉団体との連携・協働を基盤とした政策提言・要望活動

ア 県担当課長と福祉団体の意見交換会

期日・場所等	出 席 者
県福祉保健課長と福祉団体の意見交換会 10月13日 新潟市	新潟県福祉保健部福祉保健課長 藤田 伸一 [出席団体] ・新潟県社会福祉協議会 ・新潟県民生委員児童委員協議会 ・新潟県老人福祉施設協議会 ・新潟県社会福祉士会 ・新潟県介護福祉士会 ・新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会
県高齢福祉保健課長と福祉団体の意見交換会 10月13日 新潟市	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課長 須貝 孝 [出席団体] ・新潟県社会福祉協議会 ・新潟県老人福祉施設協議会 ・新潟県老人クラブ連合会
県障害福祉課長と福祉団体の意見交換会 10月13日 新潟市	新潟県福祉保健部障害福祉課長 堀池 愛子 [出席団体] ・新潟県身体障害者団体連合会 ・新潟県手をつなぐ育成会 ・新潟県精神障害者家族会連合会 ・新潟県社会福祉士会 ・新潟県介護福祉士会
県児童家庭課長と福祉団体の意見交換会 10月13日 新潟市	新潟県福祉保健部児童家庭課長 土田 まゆみ [出席団体] ・新潟県母子寡婦福祉連合会

イ 県知事及び県福祉保健部長に対する要望活動

期日・場所等	出席者
1月17日 新潟市	<p>[要望先]</p> <p>新潟県知事 米山 隆一</p> <p>新潟県福祉保健部長 岡 俊幸</p> <p>[出席者名]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県社会福祉協議会会長 竹内 希六 ・新潟県民生委員児童委員協議会会長 長谷川 剛 ・新潟県老人福祉施設協議会会長 市井 栄吉 ・新潟県老人クラブ連合会会長 川崎 悌吉 ・新潟県身体障害者団体連合会常務理事 竹森 登志男 ・新潟県手をつなぐ育成会理事長 片桐 宣嗣 ・新潟県精神障害者家族会連合会理事長 星 真人 ・新潟県母子寡婦福祉連合会会長 中野 キシ子 ・新潟県社会福祉士会会長 星井 勝博 ・新潟県介護福祉士会副会長 西本 円 ・新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会会長 竹内 希六

③ 福祉団体の自主活動への共催・後援等

期日・場所	大会名・団体名
4/16～5/22 新潟市	わくわく動物園 (新潟市)
4/22 新潟市	新潟県私立保育園連盟設立60周年記念式典 (新潟県私立保育連盟)
5/15 新潟市	第17回新潟県障害者スポーツ大会 (新潟県)
5/19 新潟市	フードバンクにいがた総会記念シンポジウム (フードバンクにいがた)
5/25 新潟市	第47回新潟県精神障害者家族会連合会大会 (新潟県精神障害者家族会連合会)
5/27 小千谷市	第61回新潟県保育事業研究大会 (新潟県保育連盟)
6/20～7/19	新潟県薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 (新潟県薬物乱用対策推進本部)
6/25 見附市	福祉住環境コーディネーターネットワーク第16回総会記念市民公開講座 (福祉住環境コーディネーターネットワーク)
7/2 三条市	学ぼう「子どもの権利擁護」～虐待とは？愛着とは？貧困とは？子どもたちの将来を 真剣に考える～ (新潟県社会福祉士会)
7/9～10 見附市	第16回新潟県聴覚障害者大会 (新潟県聴覚障害者協会)
7/10 新潟市	第58回新潟県母子寡婦福祉大会 (新潟県母子寡婦福祉連合会)
7/9 上越市	第21回新潟県手をつなぐ育成会新潟大会 (新潟県手をつなぐ育成会)
7/24 新潟市	ソーシャルワーカーデーにいがた2016 (新潟県社会福祉士会)
7/30～11/6 新潟市	第29回社会福祉士国家試験受験対策講座 (新潟県社会福祉士会)
8/6 三条市	地域包括ケア 医療と介護の連携の実践報告 (新潟県社会福祉士会)
8/8～9 湯沢町	平成28年度全国福祉高等学校長会 第22回総会・研究協議会並びに福祉担当教員等研 究協議会新潟大会 (新潟大会実行委員会)
8/20 新潟市	平成28年度新潟県ホームヘルパー研究大会〈日本ホームヘルパー協会北部ブロック研 修会〉 (新潟県ホームヘルパー協議会)

8/20~21	新潟市	第11回日本口腔ケア協会学術大会	(新潟口腔ケア研究会)
8/24	南魚沼市	第27回南魚沼地区社会福祉大会	(南魚沼地区社会福祉大会実行委員会)
8/21	胎内市	胎内市地域福祉フォーラム	(胎内市)
8/26	新潟市	日本災害食学会大会公開シンポジウム	(健康ビジネス協議会)
8/1~2/28		第64回手足の不自由な子どもを育てる運動	(新潟県肢体不自由児協会)
9/3~4	長岡市	これからの地域福祉文化を語り合う集い	(日本地域福祉学会・日本福祉文化学会)
9/10	新潟市	2016映画「愛を積むひと」バリアフリー上映会	(新潟県視覚障害者福祉協会)
9/14	胎内市	ご近所福祉活動発表大会 in たいない	(胎内市社会福祉協議会)
9/17~19	新潟市	日本特殊教育学会第54回大会	(日本特殊教育学会大会準備委員会)
9/21~25	新潟市	第28回全国ろうあ高齢者大会	(第28回全国ろうあ高齢者大会実行委員会)
9/22	新潟市	第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	(リハビリテーション学会学術大会)
9/29~30	新潟市	第37回関東・甲信越地区身体障害者施設職員研修大会	
9/12~9/13	長岡市	第22回新潟県老人福祉施設研究大会	(新潟県老人福祉施設協議会)
10/1~2	新潟市	来て、見て、学ぼう!みんなの防災フェア2016	(テレビ新潟放送網)
10/7	南魚沼市	第33回がん征圧新潟県大会	(新潟県健康づくり財団)
10/8	佐渡市	佐渡金銀山現地ボランティアツアー	(新潟県教育庁文化行政課)
10/23	柏崎市	第40回新潟県聴覚障害者ソフトバレーボール交流大会	(新潟県聴覚障害者協会)
10/2	新潟市	新潟県視覚障害者福祉大会・新潟県視覚障害者文化祭	(新潟県視覚障害者福祉協会)
10/5	妙高市	平成28年度みんなねっと北信越ブロック家族会精神保健福祉研修会新潟大会	(新潟県精神障害者家族会連合会)
10/10	新潟市	赤い羽共同募金応援チャリティゴルフコンペ	(新潟県共同募金会)
10/12	新潟市	第52回新潟県老人福祉大会	(新潟県老人クラブ連合会)
11/2	長岡市	第40回北越銀行賞表彰式	(北越銀行)
10/20	新潟市	第16回全国障害者スポーツ大会新潟県・新潟市選手団結団式	(新潟県)
11/13	上越市	平成28年度上越市社会福祉大会	(上越市社会福祉協議会)
10/22	長岡市	2016年度第2回新潟ブロックコンファレンス	(日本青年会議所北陸信越地区新潟ブロック協議会)
10/30	新潟市	第49回新潟県身体障害者福祉大会	(新潟県身体障害者団体連合会)
11/3	湯沢町	第7回湯沢町ふれあい福祉健康フェスティバル	(湯沢町社会福祉協議会)
11/13~19	新潟市	第15回新潟県障害者芸術文化祭	(第15回新潟県障害者芸術文化祭実行委員会)
11/8	新発田市	第3回新潟県高等学校ボランティア大会	(新潟県高等学校文化連盟)
11/18	新潟市	新潟地区サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者現任研修	(新潟地区サービス管理者ネットワーク)
11/18	長岡市	2016年度障害者支援研修	(新潟県社会福祉士会)
11/20	新潟市	新潟県作業療法士会第23回公開講座	(新潟県作業療法士会)
11/13	新潟市	第10回東日本大震災チャリティイベント「百花繚乱」	(新潟恩返しプロジェクト)
11/23	新潟市	平成28年度新潟県医療社会事業担当者研修会	(新潟県医療ソーシャルワーカー協会公開講座) (新潟県医療ソーシャルワーカー協会)
11/30	三条市	相談援助スキルアップセミナー	(新潟県社会福祉士会)
12/4	三条市	第40回新潟県地域手話まつり及び新潟県手話サークル連絡協会創立40周年記念大会	(新潟県手話サークル連絡協議会)
10/8	胎内市	平成28年度胎内市社会福祉大会	(胎内市社会福祉協議会)

1/28	新潟市	2017年度第1回新潟ブロックコンファレンス	(日本青年会議所北陸信越地区新潟ブロック協議会)
3/4~5	糸魚川市	第27回耳の日フェスティバル	(新潟県聴覚障害者協会)
3/21		上越市社会福祉協議会福祉教育フォーラム	(上越市社会福祉協議会)

(2) 全国・関東ブロック研修会等の本県での開催に対する支援・協力

- ① 第53回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会
 - ▶ 7月14日～15日 湯沢町（参加者数275名） 基調講演、分科会等
- ② 平成28年度関東社会就労センター協議会研究大会 in 新潟会
 - ▶ 7月21～22日 新潟市（参加者数202名） 記念講演、分科会、シンポジウム等
- ③ 第47回北陸中部地区救護施設研究協議大会
 - ▶ 7月28日～29日 新潟市（参加者数131名） 記念講演、分科会等
- ④ 平成28年度関東ブロック保育事業連絡協議会
 - ▶ 9月1日～2日 新潟市（参加者数117名） 全体会、職域別会議、講演等
- ⑤ 第28回全国ろうあ高齢者大会
 - ▶ 9月21日～25日 新潟市（参加者数603名） 基調講演、分科会、式典
- ⑥ 第37回関東・甲信越地区身体障害者施設職員研修会
 - ▶ 9月29日 新潟市（参加者数398名） シンポジウム、記念講演
- ⑦ 平成28年度みんなねっと北信越ブロック家族会精神保健福祉研修会新潟大会
 - ▶ 10月5日～6日 妙高市（参加者数301名） 記念講演、基調報告、分科会等
- ⑧ 全国個室ユニット型施設協議会第10回全国研修大会 in 新潟
 - ▶ 11月24日～25日 新潟市（参加者数490名） 活動報告、講演、シンポジウム、分科会等

(3) 福祉団体業務の受託等による支援・協力

福祉団体の事務局業務を受託し、運営・活動の充実に支援・協力した。

- ① 新潟県社会福祉法人経営者協議会
- ② 新潟県社会福祉法人経営者協議会青年部会
- ③ 全国社会福祉法人経営者協議会北関東・信越ブロック協議会
- ④ 新潟県内社協職員連絡会
- ⑤ 新潟県災害ボランティア調整会議
- ⑥ 新潟県社会就労センター連絡協議会

2 災害福祉広域支援ネットワーク事業の推進〈活動指針〉

平成26年3月、県内福祉関係10団体（H28.4月現在：13団体）が横断的に連携した「新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会」が発足し、災害に備えた福祉支援体制の構築に向け活動している。

(1) 災害福祉広域支援ネットワーク協議会総会・幹事会の開催

期日・場所等	協議事項
総会 6月27日 (新潟市)	[主な検討・協議事項] ・災害時における要配慮者支援体制構築の検討状況(中間報告)について ・チーム編成等に関する基本方針について ・チームの派遣体制、チーム員の構成、編成等について
幹事会	・チーム予定員の推薦手続、推薦状況等について

第1回 6月1日	・チーム員の研修について
第2回 9月9日	・チーム設置運営要領、県との派遣支援協力に関する協定書について
第3回 12月14日	・県との派遣支援協定の締結及び派遣支援体制構築に向けた課題の整理
第4回 3月21日 (新潟市)	について ・チーム員の登録について ・総合防災訓練の参加について ・災害福祉広域支援セミナーの開催について ほか

(2) 災害時における要配慮者支援体制の構築に向けた取組等

[主な内容]	
○ ネット協の支援協力の範囲・内容並びにチームの編成・設置及び派遣体制等に関する基本方針の検討	
○ 派遣支援協力に関する協定の締結及び県地域防災計画への明記に向けた県との協議・検討	
○ チーム員の推薦募集及び登録 登録人数67名	
○ チーム員研修会の開催《新規》 3月1日 新潟市 参加者59名	
○ ホームページの開設（県社協ホームページ内）	
○ 他県情報の収集（群馬県）	
○ 研修訓練用備品等の整備 ほか	

(3) 災害福祉広域支援セミナーの開催

期日・場所等	内 容
11月24日 新潟市 朱鷺メッセ (参加者 141名)	<p>【情報提供】 「市町村における福祉避難所の指定及び協定締結の実態調査結果」 新潟県福祉保健部福祉保健課 参事 原 直人</p> <p>【事例発表】</p> <p>1. 「災害時における福祉避難所の設置・運営に関する協定の締結について ～その背景と今後の課題～」 燕市健康福祉部長寿福祉課 課長 塚原 新一 社会福祉法人つばめ福祉会 山保 司郎</p> <p>2. 「新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会の災害時要配慮者支援の 取組について ～災害福祉支援チームの編成～」 新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会 代表幹事 西川 伸作</p> <p>【講 演】 「近年の大災害に学ぶ災害時の要配慮者支援」 跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 教授 鍵屋 一</p> <p>【ディスカッション】 ○コーディネーター 鍵屋 一 ○参加者 情報提供者、事例発表者のほか 社会福祉法人吉田福祉会 佐々木晴美 社会福祉法人桜井の里福祉会 永井 摩美 新潟県防災局防災企画課 志田 憲一</p>

(4) 地域振興局管内情報交換会議への参加

期日・場所等	内 容
1月23日 長岡地域振興局 1月31日 村上地域振興局	<p>○ 市町村ごとに開催を計画していた行政と福祉関係者等が参加する「地域懇談会」に代えて県振興局管内「避難行動要支援者等に関する担当者情報交換会議（県防災局主催）」に参加し、管内の市町村、福祉事業者、県振興局防災・福祉担当者に、ネット協の要配慮者支援体制（災害福祉支援チーム等）の検討状況等について説明した。</p> <p>【長岡地域振興局管内】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者 長岡市、小千谷市、見附市、小千谷市・見附市社会福祉協議会 県振興局企画振興部・健康福祉環境部 <p>【村上地域振興局管内】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者 村上市、関川村、粟島浦村、関川村社会福祉協議会 関川愛広苑、村上岩船福祉会 県振興局企画振興部・健康福祉部

(5) 防災訓練への参加・協力

期日・場所等	内 容
10月30日 新発田市	<p>○ 県・新発田市総合防災訓練 福祉避難所支援訓練参加 ネット協・福祉避難所 PR パネル展示</p>

3 関係団体との協定による事業

① 新潟医療福祉大学との包括連携協定に基づく事業の実施

市民がいつまでも健康でアクティブに暮らすことができ、自分らしく心豊かに生きる価値や方法を探ることを目的に、新潟市社会福祉協議会並びに新潟医療福祉大学との主催で開催した。

期日・場所等	内 容
2月13日 新潟市 (参加者80名)	<p>◇開会挨拶 新潟市社会福祉協議会 会長 関 昭一</p> <p>◇アクティビティ・トーク「生涯現役 楽しく暮らす」 新潟県社会福祉協議会 会長 竹内 希六 新潟県高齢者大学（新潟医療福祉大学 教授） 学長 石上 和男</p> <p>◇リレー講座と体操</p> <p>「腰痛謝金返済で腰痛改善！」 新潟医療福祉大学 義肢装具自立支援学科 准教授 勝平 純司</p> <p>「輝く瞳で生き生き生活」 新潟医療福祉大学 視機能科学科 教授 前田 史篤</p> <p>「夜間頻尿・過活動膀胱への対処法」 新潟医療福祉大学 作業療法学科 准教授 今西 里佳</p> <p>「健康体操」 新潟医療福祉大学 健康スポーツ学科 准教授 佐藤 大輔</p> <p>◇県民とトーク</p>

② 公益社団法人日本青年会議所新潟ブロック協議会との「防災フォーラム（災害ボランティア関係団体情報交換会）」の開催（新潟県災害ボランティア調整会議共催）

平時からの連携と顔の見える関係づくりと災害時における支援活動の連携を図るために情報交換会を実施した。〔JC・新潟県・本調整会議の共催〕

▶参加者総数：95名（JC35名、社協32名、行政14名、NPO等支援団体14名）

期日・場所	内容
三条市 6月15日 (参加者52名)	<p>〈第一部〉</p> <p>◇講義『災害時の連携を見据えたネットワークのかたち』 講師にいがた災害ボランティアネットワーク：李 仁鉄氏</p>
上越市 6月22日 (参加者43名)	<p>◇ワークショップ『災害時の対応・平時の備えを考える』 講師中越防災安全推進機構：河内 毅氏</p> <p>水害を想定した様々な課題を同一地域内の各機関や団体と協働して解決する演習を実施した。</p>

基本方針Ⅲ 一人ひとりの自立生活づくり

推進目標1 高齢者の社会参加の促進

1 明るい長寿社会づくり推進事業

(1) 長寿社会振興センター運営協議会

期日・場所	協議事項
3月1日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・議長の選任について ・平成28年度事業実施状況について ・平成29年度事業計画について

(2) 第21回にいがたねんりんピック

高齢者のスポーツ大会を通じ、ふれあいと活力ある長寿社会の実現をめざすことを目的に開催した。

期日・場所	内容
5月16日～ 平成29年2月19日 県内8市町村	<p>[スポーツ交流大会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月16日～平成29年2月19日(実日数10日間)、977名参加 ・競技種目12種目(ゲートボール、テニス、ペタンク、ソフトボール、ソフトバレーボール、ゴルフ、卓球、ソフトテニス、弓道、バウンドテニス、剣道、太極拳) ・全国健康福祉祭への派遣選手選考

(3) 全国健康福祉祭(ねんりんピック)派遣

全国健康福祉祭(ねんりんピック)に選手を派遣した。

期日・場所等	内容
10月15日～18日 長崎県 (89名派遣)	<p>[県選手団結団式]</p> <p>9月30日 新潟エゾノツガ5階「特別会議室」(参加種目代表者30名参加)</p> <p>[参加種目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶スポーツ交流大会(9種目:卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、マラソン、弓道) ▶ふれあいスポーツ交流大会(2種目:太極拳、ソフトバレーボール) ▶文化交流大会(2種目:囲碁、将棋) <p>[主な成績]</p> <p>ソフトバレーボール 2位、テニス 3位</p>

(4) 世代間交流事業(福祉・介護・健康フェア2016同時開催)

高齢者の健康及び文化活動を通じて、地域間、世代間のふれあいと交流を図り、高齢者の社会参加や生きがいづくりの推進を目的に開催した。

期日・場所等	内容
11月13日 新潟市	<p>[交流ブース]</p> <p>おもちゃ病院(おもちゃドクター)によるおもちゃ修理、木工教室</p>

(入場者16,020名)	[講演]	
	「心と体の健康」	石川 ひとみ
	[ニュースポーツ体験コーナー]	
	スピードラダーゲッター、ブローライフル、玉入れ、魚釣り	

(5) 高齢者大学の開講

高齢者に学習の機会を提供することと併せて、仲間づくりや地域活動の担い手を養成することを目的に、新潟市、長岡市、上越市において高齢者大学を開講した。

① 高齢者大学運営委員会

期日・場所	協 議 事 項
12月20日 新潟市	[報告事項] ・平成28年度新潟県高齢者大学の運営状況について [協議事項] ・平成29年度新潟県高齢者大学の運営について

② 講座の開設

▶ 講師 約60名 (弁護士、大学教授、薬剤師、管理栄養士、介護福祉士、NPO関係者等)

期日・修了者等	内 容 (講座数)
基礎課程1年次 5月～10月 (13日間15講座) (修了者137名)	社会・生活 (5)、健康 (3)、福祉 (2)、地域活動 (4)、 特別講座 (1) 新潟会場 2クラス 長岡会場 1クラス 上越会場 1クラス
応用課程2年次 4月～10月 (14日間15講座) (修了者152名)	社会・生活 (7)、健康 (2)、福祉 (1)、地域活動 (4)、 特別講座 (1) 新潟会場 2クラス 長岡会場 1クラス 上越会場 1クラス
ボランティア体験コ ース (傾聴) 7月 (3日間) (修了者22名)	・よい聴き手になるために ・信頼関係の形成 ・傾聴のスキルを使っでの対話訓練 ・認知症高齢者への関わり方 ・ボランティア活動「地域での見守り活動」
暮らしと環境(食育) コース 8月～9月 (3日間) (修了者30名)	・講義「食育について」「新潟の郷土料理」 「フードバンクの取り組み」「湊町の醤油について」 「新潟の発酵食品からみえてくるもの」 「乳業について」「『さかすけ』と『新潟のお酒』について」 ・新潟醤油株式会社見学 ・調理実習
認知症予防脳活性・ 筋トレコース	・講義「高齢者の身体について」「認知症予防と筋肉について」 「手先、指先を動かして脳を活性化」

9月～10月 (3日間) (修了者30名)	「作って楽しい革細工」 ・実技「体力測定」「自宅、地域で簡単にできる運動」 「革細工を作ろう！」
地域の茶の間体験コース 7月 (3日間) (修了者16名)	・講義「地域の中で私が役立つこと」 ・活動体験「実家の茶の間・紫竹」 ・地域の茶の間の運営について ・暮らしの中の介護の工夫、まとめ、情報交換
まちかどふれ愛英会 話コース 6月～7月 (4日間) (修了者27名)	・講義「声のかけ方、たずね方」 「お困りの外国人への道案内」 「新潟の観光地や名産品を伝えてみよう」 「実際に外国の方と話してみよう」
元気塾スポレクコース 9月 (3日間) (修了者15名)	・講義「スポーツと安全」「加齢に伴う食事とスポーツ」 「腸の働きと健康・スポーツ」 ・実技「レク式体力チェック」「レク式バイアスロン」 「スポ・レク・サーキット（クップ、ペタンク他）」 「スポ・レクバイキング（ラダーゲッター、マンカラ他）」
地域再発見良寛の里 コース 6月 (4日間) (修了者30名)	・講義「パワーポイントによる良寛の解説Ⅰ、Ⅱ」「良寛の書の鑑賞」 ・実技「まち歩き（出雲崎）良寛堂、円明院、芭蕉園他」 「まち歩き（分水）国上寺、五合庵、宝珠庵、本覚院他」 「まち歩き（与板）楽山苑、いしぶみの里、蓮正寺他」 「まち歩き（和島）はちすば通り、島崎橋良寛歌碑他」

③ 高齢者大学運営協力員の委嘱と協力員会議

大学の円滑な運営と高齢者による大学運営の自主性を高めるため、高齢者大学の卒業生の中から「大学運営協力員」を委嘱した。

- ▶ 運営協力員の委嘱者数16名
- ▶ 運営協力員会議の開催（2回開催11月30日、3月2日）

(6) 社会活動実践者等交流・仲間づくりの促進

① 同窓会事業

高齢者大学卒業生が一堂に集い、交流を深めるとともに地域活動のリーダーとして仲間づくりや社会活動への参加促進と活動の広がりを図ることを目的に同窓会事業を行った。

ア 同窓会事業（下越・山形庄内地域研修旅行）

期日・場所等	内 容
10月20日～21日 下越地区	講演会「見直そう！食のできているつもり気をつけているつもり」 新潟医療福祉大学准教授 入山 八江
山形庄内地域	交流会「卒業生の活動発表」 平成25年度長岡卒業生 松下 晃 平成22年度新潟卒業生 菅井 哲郎

(参加者110名)	平成23年度上越卒業生	竹内 實
	平成26年度新潟卒業生	田中 米三
下越及び山形庄内地域の歴史や文化を学ぶ		
伏見蒲鉾、清水園、いでは文化記念館、国宝五重塔、三神合祭殿他		

イ 同窓会事業企画会議

同窓会事業の円滑な運営と高齢者による事業の自主性を高めるため、高齢者大学の卒業生の中から「同窓会事業企画員」を委嘱した。

- ▶ 企画員の委嘱者数7名
- ▶ 企画会議の開催（10回開催 4月～3月）

ウ 同窓会事業地区連絡会代表者会議

同窓会事業の円滑な運営を図るため、上・中・下越3地区において意見交換の場とする連絡会を設置し、各地区のクラス代表による連絡会議を開催した。

地区連絡会代表者：平成21年度～27年度卒業のクラス代表者

地区会議の開催：各地区2～8回開催（4月～3月）

エ 長岡地区同窓会講演会

日 程：平成29年3月7日（火）

場 所：アトリウム長岡

参加者：93名

講 師：新潟医療福祉大学 健康スポーツ学科教授 佐藤敏郎

演 題：「シニア世代もトレーニング×科学で健康的なからだづくり」

② 地域の居場所ネット創出事業（再掲）

支援を必要とする人も一人ひとりが住み慣れた地域で役割を見いだせる共生社会のあり方を考えるとともに、地域の実情に応じた今後の居場所のあり方を検討した。

ア「移動サービス担い手養成研修会」

期日・場所等	内 容
12月20日 新潟市 (参加者29名)	講義①多摩市の全員参加型生活支援体制整備事業について 講師：NPO 法人ハンディキャップゆづり葉地域支援担当理事 杉本 依子 講義②訪問型サービスDの基本的理解 講師：NPO 法人全国移動サービスネットワーク副理事長 河崎 民子

イ「見附市生活支援サポーター養成研修」

期日・場所等	内 容
11月15日 見附市 (参加者8名)	講義①住民参加の意義・理念 講義②地域包括ケアシステムの概要と支え合い活動の意義について 講師：支え合いのしくみづくりアドバイザー 河田 珠子

推進目標2 高齢者への生活支援の充実

1 高齢者総合相談センター事業

(1) 相談事業

高齢者とその家族等が抱える生活全般の心配ごとや悩みごと相談にあたった。

① 相談の概要

一般相談開設日数	専門相談開設日数	相談者数	相談延べ件数
243日 (月平均20.3日)	110日 (月平均9.2日)	1,544人 (月平均128.7人)	1,856件 (月平均154.7件)

② 相談者数・相談種別・相談方法

相談者人数			相談種別		相談方法		
男性	女性	計	一般	専門	電話	来所	手紙
335人	1,209人	1,544人	1,330人	214人	1,342人	195人	7人
21.7%	78.3%	100.0%	86.1%	13.9%	86.9%	12.6%	0.5%

③ 相談内容

家族・家庭	法律	経済・生活	福祉サービス	生きがいづくり	保健・医療	合計
598件	435件	486件	163件	41件	133件	1,856件
32.2%	23.4%	26.2%	8.8%	2.2%	7.2%	100.0%

④ 専門家が受けた相談件数

法律 (弁護士)	不動産利活用 (不動産鑑定士)	税金 (税理士)	認知症 (社会福祉士)	合計
178件	36件	8件	11件	233件
76.4%	15.5%	3.4%	4.7%	100.0%

⑤ 他機関への紹介や委任件数

行政機関	相談機関	施設等	その他	合計
79件	67件	10件	19件	175件
45.1%	38.3%	5.7%	10.9%	100.0%

⑥ 地域相談会

県内各地に専門家を派遣し、相談に対応した。

	実施市町村	相談者数	相談延べ件数
法律相談	10カ所	24人	29件
不動産の鑑定・利活用相談	8カ所	19人	20件

(2) 相談担当者の資質向上

① 高齢福祉相談担当職員等研修会

市町村、社会福祉協議会、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等の職員を対象に研修会を開催し、相談員の資質の向上を図った。

期日・場所等	内 容
9月21日 新潟市 (参加者78名)	[メンタルヘルス・セルフケア研修] ～相談業務に携わる自身のための～ 講義 メンタルヘルスの基礎知識 講義 「心の不調」とはどのようなものか 演習 自己診断・自己診断結果の相互チェック 講義 心を健康に保つコミュニケーションの方法 演習 コーピング方法の検討 講義 自己のメンタルヘルスを保つために 株式会社話し方教育センター 講師 伊槻 紀子
10月18日 長岡市 (参加者100名)	[コミュニケーション力向上研修] ～相談者の思いを汲み取るための～ 講義 相談業務に求められるコミュニケーション力 演習 経験分析「ご家族・ご利用者とのコミュニケーションを振り返る」 講義 コミュニケーションスキルの基礎① 話し方 演習 コミュニケーショントレーニング 講義 コミュニケーションスキルの基礎② 聴き方 講義 コミュニケーション能力を向上するために 株式会社話し方教育センター 講師 井田 優里
11月15日 新潟市 (参加者81名)	[モチベーション向上研修] ～相談対応者としての気持ちを持ち続けるための～ 講義 モチベーションアップへの基本知識 演習 経験分析「やる気が高まる時・下がる時」 講義 モチベーション向上のための条件 演習 目標設定体験「モチベーション高く仕事をするために」 講義 明日に向けての自己啓発 株式会社 話し方教育センター 講師 山川 亮子

(3) 相談業務情報の提供等

① 県社協広報誌やマスコミ等を通じ相談についての情報提供・広報

- ▶ 高齢者福祉総合情報誌「にいがたオアシス21」、機関紙「福祉にいがた」に活動状況等を掲載（年4回）
- ▶ 高齢者総合相談センターリーフレット（25,000部）、ポスター（500部）、名刺サイズポスター（80,000部）を作成・配布及びNTT電話帳、JR時刻表（三条管内版）に掲載

② 県内各種相談窓口ガイドの作成・提供

- ▶ 県内の相談機関の所在情報等を集約した冊子「相談のみちしるべ」を作成し、市町村等の相談機関へ提供（2,000部）

推進目標3 障害者の社会参加の促進

1 福祉の店パレット新潟店運営事業

(1) 店舗販売等

福祉施設で作られた製品の展示・販売を行い、各種イベント等を通して広く県民とのふれあいの場として「福祉の店パレット」を運営し、障害者の就労や生きがい、社会参加の促進と県民に対する福祉への理解促進に努めた。

▶ 新潟ユニゾンプラザ内の常設店での販売実績（総売上額：13,478,914円）

① 運営委員会

期日・場所	協議事項
3月6日 新潟市	・平成28年度売上状況について ・今後の販売促進について

(2) 周年祭

期日・場所	内容
11月13日 新潟市	・契約施設による即売会 参加施設 30施設、販売売上額 608,006円 ・各種イベントの実施 ガラポン抽選会、店舗紹介パンフレットの配布 ・抽選会参加人数（2施設以上からの購入者）550名 ・「福祉・介護・健康フェア2016」との併催実施

(3) 授産事業の活性化、自主製品の開発支援

① 授産事業活性化研修会

授産施設指導職員等を対象に、授産事業の活性化に向けた新たな製品の開発や品質の向上を目的に研修会を開催した。

期日・場所等	内容
2月17日 新潟市 (参加者47名)	講義・演習「伝える力～プレゼンテーションの基本～」 講師：新潟NPO協会 常務理事事務局長 井上 基之 講義・演習『工賃向上のための【成果の出る】考え方・行動の仕方』 講師：社会福祉法人光明会 CEO 常務理事 内藤 晃

(4) 障害者しごと体験事業

店舗販売を通じて障害者に就労体験の場を提供し、障害者の生きがいづくりと社会参加を促進するとともに、県民の障害者福祉への理解促進に努めた。

期日・場所	内容
5月～2月 新潟市 (パレット新潟店)	・参加施設7施設、体験人数21名 ・業務内容 店内での商品の整理や陳列、お客様への声かけ、商品の袋詰め、納品受入の手伝い等販売員の補助業務 ・業務時間

推進目標 4 生活の安定への支援

1 生活福祉資金貸付事業

(1) 生活福祉資金等貸付事業

誰もが地域で安定した生活が送れるよう、市町村社協や民生委員、生活困窮者自立相談支援機関等の関係機関と連携し、低所得者、障害者又は高齢者の世帯に対し、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図った。

▶ 生活福祉資金貸付審査等運営委員会

年9回開催・承認件数

福祉資金(福祉費)貸付13件、貸付元利金等の償還免除6件、延滞利子の免除11件

▶ 会長専決：・緊急等を要する借入申請について随時貸付決定

総合支援資金0件、福祉資金99件(福祉費11件、緊急小口資金88件)、
教育支援資金51件の合計150件

・死亡、行方不明等の償還免除申請が不能の債権を随時償還免除決定

貸付元利金等の償還免除116件、延滞利子3件

▶ 償還実績：償還額 184,860千円(当年度償還期限内償還率 74.06%)

① 総合支援資金、福祉資金、教育支援資金の貸付

【申込・貸付決定実績】

	申 込		貸 付	
	件 数	金 額 (円)	件 数	金 額 (円)
総合支援資金(※)	0	0	0	0
生活支援費	0	0	0	0
住宅入居費	0	0	0	0
一時生活再建費	0	0	0	0
福祉資金	121	15,814,000	112	15,138,000
福 祉 費	24	8,143,000	24	8,143,000
緊急小口資金	97	7,671,000	88	6,995,000
教育支援資金	51	20,892,729	51	20,744,729
教育支援費	28	15,695,729	28	15,587,729
就学支度費	23	5,197,000	23	5,157,000
合 計	172	36,706,729	163	35,882,729

② 不動産担保型生活資金の貸付

一定の居住用不動産を有し、将来にわたりその住居に住み続けることを希望する高齢者世帯に対し、当該不動産を担保として生活資金の貸付制度。

▶ 不動産担保型生活資金審査委員会：年5回開催

(③要保護世帯向け不動産担保型生活資金貸付審査を含む)

【申込・貸付決定実績】

	件数	金額(円)
申込	0	0
貸付	0	0

③ 要保護世帯向け不動産担保型生活資金の貸付

一定の居住用不動産を有し、将来にわたりその住居を所有し、又は住み続けることを希望する要保護の高齢者世帯に対し、当該不動産を担保として生活資金の貸付を行った。

【申込・貸付決定実績】

	件数	金額(円)
申込	2	17,400,000
貸付	2	17,400,000

④ 臨時特例つなぎ資金の貸付

離職者を支援するための公的給付制度又は公的貸付制度を申請している住居のない離職者に対し、当該給付金又は貸付金の交付を受けるまでの当面の生活費の貸付制度。

【申込・貸付決定実績】

	件数	金額(円)
申込	0	0
貸付	0	0

⑤ 高校生の授業料等滞納に係る教育支援資金の貸付

高等学校の授業料等をやむをえない事情により滞納した場合、滞納時まで遡及して当該滞納額(現在高)の貸付を行った。

【申込・貸付決定実績】※(1)表に含む(再掲)

	件数	金額(円)
申込	4	756,729
貸付	4	756,729

⑥ 教育支援資金教育支援費における特に必要と認める場合の貸付上限額を超える貸付

教育支援費で特に必要と認める場合に限り、貸付上限額の1.5倍の額まで貸付可能とする貸付を行った。

【申込・貸付決定実績】※(1)表に含む(再掲)

	件数	金額(円)
申込	2	4,668,000
貸付	2	4,668,000

◎⑦ 大規模災害の発災に対する緊急小口資金の貸付等

ア 平成28年糸魚川市駅北大火における緊急小口資金の臨時貸付

12月22日に発災した糸魚川市駅北大火の被災者を対象に、緊急小口資金の貸付を12月

26日から1月25日まで行った。

実施にあたり県社協職員を現地の糸魚川市に12月27日から29日まで派遣し、貸付業務を行った。

【申込・貸付決定実績】※(1)表に含む(再掲)

	件数	金額(円)
申込	1	100,000
貸付	1	100,000

イ 平成28年熊本地震における新潟県内への避難者に対する特例貸付

4月14日に発災した熊本地震で新潟県内への避難者を対象に、福祉資金「福祉費における住宅補修費・災害援護費及び緊急小口資金」の貸付業務を行った。

新潟県内の申請並びに貸付実績はなかった。

ウ 平成28年熊本地震における熊本県内における貸付業務支援(再掲)

全国社会福祉協議会からの要請に基づき、熊本県に新潟県内の社協職員を派遣し、現地で緊急小口資金の貸付特例貸付業務にあたった。

- ▶ 派遣先 熊本県宇城市社協
- ▶ 派遣期間 5月15日から20日まで
- ▶ 派遣職員(3人)新潟県社協、新潟市中央区社協、新発田市社協

(2) 生活福祉資金等貸付・債権管理

- ① 初期滞納先に重点を置いた償還指導の実施
- ② 長期滞納先の個別管理と不良債権の削減

ア 当年度償還債権の償還率

27年度(%)	28年度(%)	対前年比(%)
72.10	74.06	+1.96

イ 初期滞納先の償還指導

償還指導先	滞納解消先	解消率(%)
269	176	65.43

ウ 市区町村社協巡回指導

実施期間	実施市区町村	指導対象人員	指導対象件数
7月～11月	36	113	356

エ 不良債権の削減

貸付元金削減額(円)
35,423,425

(3) 生活福祉資金貸付事務担当者研修会

期日・場所等	内 容
<p>第1回 7月13日 新潟市 (参加者46名)</p>	<p>説明1「生活福祉資金貸付事業をめぐる動向について」 ・貸付状況及び償還状況、生活福祉資金貸付事業の課題、市町村社協事務費</p> <p>説明2「生活福祉資金の貸付について」 ・生活福祉資金の概要と各資金の種類と申請時の留意点</p> <p>説明3「生活福祉資金の債権管理について」 ・債権管理のねらい、市町村社協の役割、債権管理の方法、償還率の推移</p> <p>説明4・演習「家計相談支援の基本的な考え方と実務」 ・家計相談支援の定義と実際の進め方 ・家計表の作成</p> <p>新潟県社会福祉協議会生活支援課</p>
<p>第2回 2月20日 新潟市 (参加者35名)</p>	<p>説明1「生活福祉資金貸付事業をめぐる動向について」 ・貸付状況及び償還状況、生活福祉資金貸付事業の課題、市町村社協事務費</p> <p>実践発表「生活福祉資金貸付制度と生活困窮者自立支援制度との連携」 南魚沼市社会福祉協議会 係長 行方正、主任 青木 知明</p> <p>説明2・演習1「家計相談支援の基本的な考え方と実務」 ・家計相談支援の定義と相談支援の進め方</p> <p>演習2「家計相談支援の実務に必要な帳票と家計表作成」 ・家計相談員の実務 ・家計表を作成するために ・家計表とライフイベント表の作成 ・キャッシュフロー表の作成</p> <p>新潟県社会福祉協議会生活支援課</p>

(4) 生活福祉資金相談等体制整備事業

① 生活福祉資金相談員の配置

生活福祉資金貸付制度の体制強化を図るため、生活福祉資金相談体制整備事業として県社協及び市町村社協の相談員の配置に対し助成した。

- ▶ 配置社協：25カ所
- ▶ 配置人数：30名（県社協1名、新潟市区社協4名、その他市町村社協21社協25名）
- ▶ 財源：貸付原資の一部取崩

② 生活福祉資金活動費の交付

民生委員実費弁償費、市町村社会福祉協議会貸付事務費を交付した。

(5) 新潟県中越沖地震に係る生活福祉資金貸付金利子補給事業への協力

新潟県中越沖地震における生活福祉資金借受者の負担軽減を図るため、公益財団法人新潟県中越沖地震復興基金が実施する「生活福祉資金貸付金利子補給事業」の業務協力を行った。

【貸付金利子補給事業の概要】

- ▶ 対象資金：福祉資金(住宅)、災害援護資金
- ▶ 補給期間：平成28年1月1日～平成28年7月31日

【利子補給実施状況】

	申 請		決 定	
	件 数	金 額 (円)	件 数	金 額 (円)
福祉資金(住宅)	1	22,120	1	22,120
災害援護資金	0	0	0	0
合 計	1	22,120	1	22,120

(6) 生活福祉資金制度の周知等

① 生活福祉資金制度の周知

- ▶ 新潟県及び新潟県社協ホームページへの掲載
- ▶ 新潟県教育庁高等学校教育課作成の「奨学金ガイド」への掲載
- ▶ 労働局職業安定部職業対策課作成の「第二のセーフティネット支援ガイド」、「再就職のためのステップアップガイド」への掲載
- ▶ 新潟県多重債務者対策連絡会議作成の「多重債務者支援機関一覧」への掲載

② 関係機関・団体との連携協力

- ▶ 新潟県多重債務者対策連絡会議への参画（7月5日、新潟市）
- ▶ 新潟市社会福祉協議会 生活福祉資金貸付事業担当者研修会に講師（12月14日、新潟市）
- ▶ 長岡市社協・長岡パーソナルサポートセンター 生活福祉資金貸付金制度と生活困窮者自立支援制度との連携合同勉強会への参加（3月17日、新潟市）

◎2 新潟県・新潟市ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

資格取得を目指し養成機関に在学するひとり親家庭の親を対象に、入学又は就職への準備資金の貸付けを行い、資格取得及び自立の促進を図った。

① 貸付決定実績

	新潟県		新潟市		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
入学準備金	2	810,000	5	1,590,000	7	2,400,000
看護師	1	310,000	1	500,000	2	810,000
准看護師	1	500,000	3	950,000	4	1,450,000
介護福祉士	0	0	1	140,000	1	140,000
就職準備金	0	0	0	0	0	0
合 計	2	810,000	5	1,590,000	7	2,400,000

◎3 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金事業

児童養護施設退所者等を対象に、大学等の進学に伴う生活費や家賃、就職に伴う家賃、又は就職に必要な資格取得への自立支援資金の貸付けを行い、円滑な自立への支援を図った。

① 貸付対象者別の貸付実績

	生活支援費		家賃支援費		資格取得支援費		合 計	
	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)
進学者	1	600,000	0	0	—	—	1	600,000
就職者	—	—	5	1,704,000	—	—	5	1,704,000
資格取得希望者	—	—	—	—	0	0	0	0
合 計	1	600,000	5	1,704,000	0	0	6	2,304,000

② 出身施設等別の貸付実績

	生活支援費		家賃支援費		資格取得支援費		合 計	
	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)
児童養護施設	1	600,000	5	1,704,000	0	0	6	2,304,000
児童自立支援施設	0	0	0	0	0	0	0	0
自立援助ホーム	0	0	0	0	0	0	0	0
里親	0	0	0	0	0	0	0	0
ファミリーホーム	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	1	600,000	5	1,704,000	0	0	6	2,304,000

4 生活困窮者自立支援事業と地域づくり〈活動指針〉

(1) 生活困窮者自立支援事業に係る情報交換会（再掲）

期日・場所等	内 容
12月14日 新潟市 (参加者33名)	活動報告「見附市における生活困窮者自立支援事業の取組」 見附市社会福祉協議会主任自立相談支援員 番場 大貴 情報交換 ①支援調整会議のあり方について ②支援の範囲について

5 福島県避難者支援事業

- ▶ 事業内容 避難者の生活再建を支援するため「福島県復興支援員」を配置し、避難者宅への戸別訪問を行い、相談支援にあたった。(福島県からの受託事業)
- ▶ 契約期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日
- ▶ 事業実績 訪問世帯数 79世帯、延べ訪問回数 96回

基本方針Ⅳ 利用者主体の福祉サービスづくり

推進目標 1 福祉サービス利用者の権利擁護の推進

1 日常生活自立支援事業

(1) 事業概要

関係機関との連携の下、8基幹的社協に専門員を配置し、認知症高齢者や知的障害者、精神障害者に対する福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等による支援を行った。

① 問い合わせ件数

対象者	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
件数	61件	18件	11件	40件	130件
構成比	47%	14%	8%	31%	100%

② 相談件数

対象者	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
件数	4,144件	4,267件	4,527件	143件	13,081件
構成比	32%	33%	34%	1%	100%

③ 契約締結人数

対象者	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	合計
人数	15人	11人	21人	47人
構成比	32%	23%	45%	100%

④ 解約人数

対象者	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	合計
人数	107人	51人	62人	220人
構成比	49%	23%	28%	100%

※平成29年度から事業を実施する6市町村社協への利用者移管による3月末での解約分42人を含む。

※平成29年度からの契約方法切り替え（三者契約から二者契約へ）による3月末での解約分46人を含む。

⑤ 実利用者数

基幹的社協	長岡市	上越市	三条市	新発田市	十日町市	佐渡市	魚沼市	南魚沼市	合計
人数	171人	109人	41人	66人	63人	53人	58人	25人	586人
構成比	29%	19%	7%	11%	11%	9%	10%	4%	100%

(2) 全市町村社協実施方式への移行に向けた取組み

◎① 市町村社協事業担当課長・担当者会議

移行の必要性や意義等について、各市町村社協から理解及び実施に向けた協力を得ることを目的に開催した。

期日・場所	協 議 事 項
4月27日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・移行に向けての基本的な考え方について ・これまでの県社協における検討の経緯について ・今後のスケジュールについて ・事業及び業務の概要について ・委託費について ・質疑応答、意見交換

② 基幹的社協連絡会議

国の動向を踏まえ、基幹的社協との連携と協力を緊密にし、移行を推進することを目的に開催した。

期日・場所	協 議 事 項
7月5日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・国の動向について ・国の動向を踏まえた今後の推進について

◎③ 市町村社協連絡会議

国の動向を踏まえ、市町村社協との連携と協力を緊密にし、移行を推進することを目的に県内5地区で開催した。

期日・場所	協 議 事 項
8月10日・新発田市	<ul style="list-style-type: none"> ・国の動向について ・国の動向を踏まえた今後の推進について
8月22日・三条市	
8月23日・長岡市	
8月29日・十日町市	
8月31日・上越市	

◎④ 事業実施意向確認調査

平成29年度からの事業実施に向けた各市町村社協の意向確認を目的に調査を行った。

▶調査時期 9月

▶対 象 基幹的社協及び新潟市社協を除く21市町村社協

▶調査結果 計6市町村社協が平成29年度からの事業実施を希望

(小千谷市社協、村上市社協、阿賀野市社協、出雲崎町社協、湯沢町社協、刈羽村社協)

◎⑤ 市町村社協移行推進会議

平成29年度からの事業実施を希望する6市町村社協及びその担当基幹的社協間において、具体的な移行に向けた調整、準備を行うことを目的に開催した。

期日・場所	協 議 事 項
10月11日・新発田市	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹的社協管内の意向確認結果について ・委託費の配分について ・専門員業務の引継ぎ、利用者の移管等について
10月11日・南魚沼市	
10月14日・小千谷市	

10月19日・長岡市

⑥ 関係機関連絡会議

平成29年度からの事業実施を希望する市町村社協管内の関係機関実務者を対象に、事業理解の促進と協力体制の確立、情報交換を目的に開催した。

期日・場所	協 議 事 項
2月21日・村上市	・事業の概要について
2月22日・阿賀野市	・事業の実施状況について
2月23日・刈羽村	・事業の対象者について
3月3日・湯沢町	・出席者からの協議、確認事項等について

(3) 契約締結審査会

全市町村社協実施方式への移行を踏まえ、本会の取組み状況について情報提供し、円滑な利用者支援に向けた審査・助言機能向上を目的に開催した。

期日・場所	協 議 事 項
7月5日・新潟市	・本会における権利擁護事業推進の取組みについて ・国の動向及びそれを踏まえた本会の今後の推進について ・日常生活自立支援事業の実施状況について

(4) 基幹的社協及び専門員との連携、支援

① 基幹的社協巡回訪問

基幹的社協における本事業の適正な実施を図るため、巡回訪問を実施し、課題等について意見交換を行った。

期日・場所	内 容
11月17日・魚沼市	・運営適正化委員会による「実施状況調査」結果に基づくその後の取組み状況について
11月29日・上越市	
11月24日・十日町市	・他県で起きた不正について
11月24日・南魚沼市	(全社協通知を踏まえた今後の取組みについての意見交換)
12月8日・長岡市	・各基幹的社協における個別案件について
12月9日・佐渡市	・全市町村社協実施方式への移行についての意見交換
12月12日・三条市	・基幹的社協からの要望について
12月13日・新発田市	

② 専門員会議

専門員を対象に、対応困難ケース等に対する適切な支援方策及び業務改善による事務の効率化について共通認識を持つとともに、資質向上を目的に開催した。

期日・場所等	協 議 事 項
第1回 4月27日 新潟市	・専門員業務の改善について ・今後の事業推進に向けた意見交換
第2回	・専門員業務の改善について

7月5日 新潟市	・支援の基本についての意見交換及び情報共有
第3回 10月7日 新潟市	・講義「自立支援の観点からのアセスメントの基本、重要性を学ぶ」 講師：田中 保雄氏（新潟県介護支援専門員協会 副会長） ・ケース検討会（スーパーバイザー：同上） ・業務推進に向けた意見交換
第4回 1月18日 新潟市	・生活保護受給者等の取扱いについて ・二者契約の導入について ・生活支援員委嘱要領の取扱いについて ・業務推進に向けた意見交換

(5) 生活支援員の資質向上、支援

① 生活支援員研修会

生活支援員を対象に、支援活動に必要な知識や援助技術の習得と資質の向上を目的として開催した。

期日・場所（参加者）	内容（説明者、講師等）
11月17日・魚沼市（十日町市社協16名、魚沼市社協34名、南魚沼市社協17名）	<ul style="list-style-type: none"> ・説明「全市町村社協実施方式への移行状況」、「支援時のポイント」（県社協企画広報課事業担当者） ・発表「移行に向けた取組み、考え方」、「事業実施上の現状と課題」、「生活支援員に伝えたいこと」（専門員） ・発表「29年度からの事業実施に向けた抱負」（市町村社協事業担当者） ・懇談「地域で活躍する生活支援員」（県社協企画広報課長）
11月29日・上越市（51名）	
12月8日・長岡市（46名）	
12月9日・佐渡市（39名）	
12月16日・新潟市（三条市社協26名、新発田市社協25名）	

(6) 関係機関との連携、啓発活動の実施

① 市町村社協事業担当者研修会

円滑な事業推進に向け、県内社協の理解促進を図ることを目的として、専門員及び市町村社協事業担当者を対象に開催した。

期日・場所	議題（説明者、講師等）
4月27日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活自立支援事業について（県社協企画広報課事業担当者） ・専門員業務の重要性について～現専門員からのエール～（専門員） ・福祉サービス利用者の権利擁護について（県社協企画広報課長）

2 成年後見制度普及促進事業

(1) 成年後見制度市町村長申立推進研修会（基礎編）の開催

期日・場所等	内容
新潟会場 11月1日 新潟市	基調説明「県内における成年後見制度の概況」 新潟県社会福祉協議会企画広報課 主任 寺口 祐司 講演「成年後見制度の概要と市町村長申立の意義」

(参加者168名)	<p>【新潟会場】新潟県弁護士会 弁護士 原田 宏一</p> <p>【長岡会場】新潟県弁護士会 弁護士 金子 直樹</p> <p>実践報告「市町村長申立と行政職員の役割」</p> <p>報告者</p> <p>湯沢町健康福祉部福祉介護課 課長 南雲 重幸</p> <p>村上市福祉課 課長補佐 木村 静子</p> <p>助言者</p> <p>【新潟会場】新潟県弁護士会 弁護士 原田 宏一</p> <p>【長岡会場】新潟県弁護士会 弁護士 金子 直樹</p> <p>進行</p> <p>新潟県社会福祉協議会企画広報課 主任 寺口 祐司</p>
<p>長岡会場</p> <p>11月7日</p> <p>長岡市</p> <p>(参加者75名)</p>	

(2) 成年後見制度市町村長申立推進研修会(応用編)の開催

期日・場所等	内 容
<p>10月12日</p> <p>新潟市</p> <p>(参加者34名)</p>	<p>基調説明「県内における成年後見制度の概況」</p> <p>新潟県社会福祉協議会企画広報課 主任 寺口 祐司</p> <p>講義「成年後見制度と市町村長申立て」</p> <p>新潟県弁護士会 弁護士 原田 宏一</p> <p>グループワーク「市町村長申立ての流れと実務」</p> <p>事例提供者</p> <p>聖籠町地域包括支援センター 主任介護支援専門員 宮下 美知子</p> <p>講 師</p> <p>新潟県弁護士会 弁護士 原田 宏一</p> <p>進行</p> <p>新潟県社会福祉協議会企画広報課 主任 寺口 祐司</p>

(3) 成年後見セミナーの開催

① 小千谷市成年後見セミナー

[主催：新潟県社会福祉協議会、小千谷市社会福祉協議会、小千谷市]

期日・場所等	内 容
<p>5月31日</p> <p>小千谷市</p> <p>(参加者121名)</p>	<p>基調講演「成年後見制度とは ～誰のためのどんな制度?～」</p> <p>金子法律事務所 弁護士 金子 直樹</p> <p>報告「小千谷市における成年後見制度の現状」</p> <p>小千谷市社会福祉課障がい福祉係</p> <p>係長 渡辺 佳代子</p> <p>小千谷市地域包括支援センター</p> <p>社会福祉士 石坂 竜之介</p> <p>小千谷市障害者支援センターさつき工房</p> <p>相談支援専門員 三浦 昌大</p> <p>実践報告「本人の権利を守るために ～成年後見制度活用方法と意義～」</p> <p>報告者</p> <p>五泉市障がい者基幹相談支援センター</p>

	相談支援専門員 大澤 歩 上越市社会福祉協議会権利擁護・生活支援係 主事 伊崎 道子 助言者 金子法律事務所 弁護士 金子 直樹 コーディネーター 新潟県社会福祉協議会企画広報課 主任 寺口 祐司
--	--

② 阿賀野市成年後見市民フォーラム

[主催：新潟県社会福祉協議会、阿賀野市社会福祉協議会、阿賀野市]

期日・場所等	内 容
9月1日 阿賀野市 (参加者95名)	講演「成年後見制度とは ～知っておきたいあなたのための成年後見～」 いわふね市民法律事務所 弁護士 佐藤 克哉 報告「成年後見制度に関する実態把握調査結果」 阿賀野市民生部高齢福祉課地域包括支援センター笹神 主事 渡辺 愛深 パネルディスカッション「成年後見制度の現状とこれから」 パネリスト 新潟県社会福祉協議会企画広報課 主任 寺口 祐司 柏崎市社会福祉協議会地域福祉課 課長代理 大塚 真光子 阿賀野市社会福祉協議会 会長 佐藤 辰郎 阿賀野市民生部 部長 井上 秀子 阿賀野市民生部高齢福祉課地域包括支援センター阿賀野 主幹 清田 真里子 コーディネーター いわふね市民法律事務所 弁護士 佐藤 克哉

③ 胎内市成年後見研修会

[主催：新潟県社会福祉協議会、胎内市]

期日・場所等	内 容
2月7日 胎内市 (参加者82名)	報告「新潟県内と新潟家庭裁判所新発田支部管内の成年後見制度の現状について」 新潟県社会福祉協議会企画広報課 主任 寺口 祐司 報告「胎内市における成年後見制度の現状について」 地域包括支援センターやまぼうし 社会福祉士 石川 由輝子 寸劇・講義「成年後見制度とは ～誰がどのような時に使える制度なの？～」 新発田中央法律事務所 弁護士 吉村 一洋 いわふね市民法律事務所 弁護士 佐藤 克哉 砂田徹也法律事務所 弁護士 阿部 剛 砂田徹也法律事務所 弁護士 石戸 裕

④ 十日町市成年後見制度研修会

[主催：新潟県社会福祉協議会、十日町市社会福祉協議会、十日町市]

期日・場所等	内 容
3月6日 十日町市 (参加者55名)	報告「成年後見制度実態把握調査結果について」 十日町市社会福祉協議会 基調講演「成年後見制度に気づく人になろう、つなぐ人になろう」 はやし社会福祉士事務所 代表 林 正海 実践報告「成年後見制度申立のケースワークについて」 報告者 五泉市障がい者基幹相談支援センター 相談支援専門員 大澤 歩 聖籠町地域包括支援センター 主任介護支援専門員 宮下 美知子 コーディネーター すうぶ社会福祉士事務所 代表 高橋 愛

(4) 成年後見制度推進連絡会議の開催

期日・場所等	内 容
魚沼会場 10月31日 南魚沼市 (参加者25名)	(1) 出席者団体・機関 ・市町村行政（高齢及び障害福祉担当課） ・市町村社会福祉協議会 ・新潟家庭裁判所 ・新潟県弁護士会
上越会場 11月18日 上越市 (参加者18名)	・公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート新潟県支部 ・公益社団法人新潟県社会福祉士会 ・新潟県 ・新潟県社会福祉協議会
新発田会場 11月22日 新発田市 (参加者24名)	(2) 内容 ①新潟家庭裁判所・県・県社協からの説明・報告 ＜説明・報告団体＞ ・新潟家庭裁判所 ・新潟県 ・新潟県社会福祉協議会
新潟会場 11月30日 新潟市 (参加者28名)	②意見交換 テーマ「成年後見制度の広域推進について」
三条会場 12月14日 三条市 (参加者21名)	
長岡会場	

12月20日 長岡市 (参加者30名)	
---------------------------	--

(5) 成年後見制度法人後見推進研修会の開催

期日・場所等	内 容
2月28日 新潟市 (参加者64名)	<p>基調講演「権利擁護と地域づくり ～法人後見に取り組む意義～」 福井県立大学看護福祉学部社会福祉学科 准教授 山口 理恵子</p> <p>実践報告「法人後見+市民後見養成に求められること」 話題提供者 新潟県社会福祉協議会企画広報課 主任 寺口 祐司</p> <p>報告者 佐渡市社会福祉協議会福祉課 課長補佐 須藤 信宏 阿賀町社会福祉協議会地域福祉係 係長 斎藤 淳也</p> <p>コーディネーター 福井県立大学看護福祉学部社会福祉学科 准教授 山口 理恵子</p>

(6) 法人後見専門員スキルアップ研修会の開催

期日・場所等	内 容
3月9,10日 新潟市 (参加者延べ 128名)	<p>講 義1 「成年後見事件の概況等について」 新潟家庭裁判所 家事訟廷管理官 哥 安祐</p> <p>講 義2 「成年後見制度における行政の役割」 新潟県福祉保健部障害福祉課自立支援係 係長 涌井 陽子</p> <p>講 義3 「制度利用対象者の医学的観点による理解」 医療法人新成医会みどり病院 認知症疾患医療センター長 成瀬 聡</p> <p>講 義4 「制度利用対象者の身上監護の実務」 公益社団法人新潟県社会福祉士会 権利擁護センターぱあとなあ新潟 事務局長 大鳥 恵美</p> <p>講 義5 「後見活動に必要な法律知識と財産管理の実務」 新潟県弁護士会 弁護士 佐藤 克哉</p> <p>グループワーク「後見活動の実際」 新潟県弁護士会 弁護士 佐藤 克哉</p>

◎ (7) 民法及び家事事件手続法の一部改正に伴う勉強会の開催

期日・場所等	内 容
11月11日 新潟市 (参加者11名)	<p>講義 「民法及び家事事件手続法の一部改正に伴う後見事務について」 新発田中央法律事務所 弁護士 吉村 一洋</p>

(8) 成年後見制度市町村プロジェクトアドバイザー派遣事業の実施

県内で開催されるプロジェクト会議・検討会等にアドバイザー等として本会職員を派遣

- ▶ 長岡市：2回（12月7日、3月7日）
- ▶ 三条市：1回（6月30日）
- ▶ 小千谷市：3回（4月12日、5月23日、6月28日）
- ▶ 十日町市：2回（5月13日、12月16日）
- ▶ 上越市：1回（10月6日）
- ▶ 阿賀野市：5回（5月11日、6月17日、7月13日、10月24日、2月24日）
- ▶ 南魚沼市：1回（9月30日）
- ▶ 胎内市：7回（7月25日、9月23日、10月11日、11月2日、12月2日、2月2日、3月13日）
- ▶ 聖籠町：1回（11月22日）
- ▶ 湯沢町：1回（6月13日）

(9) 各種委員会・会議等への参画

各種部会・委員会等に委員等として本会職員が参画

- ▶ 新潟県自立支援協議会権利擁護部会：1回（12月22日）
- ▶ 村上市成年後見制度利用支援体制検討会
：6回（6月2日、8月24日、10月24日、12月6日、2月8日、3月22日）
- ▶ 糸魚川市成年後見制度利用支援体制検討委員会：1回（5月17日）
- ▶ 十日町市社会福祉協議会成年後見制度法人後見準備会
：5回（6月9日、8月22日、10月14日、10月27日、2月14日）
- ▶ 燕市社会福祉協議会福祉後見・権利擁護センター運営委員会
：4回（6月23日、10月20日、12月22日、3月17日）
- ▶ 刈羽村社会福祉協議会法人後見運営委員会：2回（2月6日、3月27日）
- ▶ 家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会：1回（11月17日）

(10) 研修会・セミナーへの講師派遣

各種研修会・セミナーに講師として本会職員を派遣

- ▶ 阿賀町主催「平成28年度阿賀町市民後見人養成研修」：7月29日
「阿賀町成年後見セミナー2016」：9月9日
- ▶ 柏崎市社会福祉協議会主催「平成28年度市民後見人養成講座」：10月19日
- ▶ 新発田市社会福祉協議会主催「成年後見センター内部研修」：4月20日
「法人後見事業職員研修会」：12月6日
「成年後見セミナー in しばた」：12月10日
- ▶ 佐渡市社会福祉協議会主催「市民後見人養成講座」：10月27日
「成年後見シンポジウム～地域を支える市民後見人～」：3月10日
- ▶ 魚沼市社会福祉協議会主催「平成28年度成年後見制度理解促進研修・啓発事業」：8月25日
- ▶ 公益社団法人新潟県社会福祉士会権利擁護センターぱあとなあ新潟主催
「2016年度成年後見関連専門職合同研修会」：7月23日
- ▶ 新潟市居宅介護支援事業者連絡協議会西蒲区ブロック主催
「司法と介護・医療がつながるかたちづくり」：12月15日

(11) 成年後見制度普及啓発パンフレットの作成

▶ 平成29年2月 10,000部

(12) 成年後見制度に関する実態把握調査の実施

目 的	新潟県内における成年後見制度の取り組み状況の把握
調査内容	ア) 新潟県における成年後見事件に関する実態把握調査 ▶対象、回答率：新潟家庭裁判所（回答率100%） イ) 成年後見制度利用支援事業等に関する実態把握調査 ▶対象、回答率：市町村行政（回答率100%） ウ) 社協における法人後見事業等に関する実態把握調査 ▶対象、回答率：市町村社会福祉協議会（回答率100%）
調査期間	5月～6月
調査結果	本会ホームページに掲載（ http://www.fukushiniigata.or.jp/reports/ ）

(13) 視察受け入れ

群馬県社会福祉協議会：6月29日

3 地域における権利擁護事業の推進〈活動指針〉

地域における権利擁護事業推進のあり方について、総合企画部会小委員会において検討し、その結果を部会に報告した。

(1) 「地域における権利擁護事業の推進」小委員会

期日・場所	協 議 ・ 報 告 事 項
第1回 4月26日 新潟市	(1) 小委員会の役割、進め方について (2) 当小委員会における日常生活自立支援事業についての検討内容及び今後のあり方について (3) 成年後見制度の現状と県社協における成年後見制度普及促進事業への取組状況等について
第2回 6月21日 新潟市	(1) 成年後見制度の利用の促進に関する法律について (2) 平成28年度成年後見制度に関する実態把握調査結果(暫定版)について (3) 成年後見制度にかかる課題整理と今後の方向性・対応策について
第3回 8月30日 新潟市	(1) 平成28年度成年後見制度に関する実態把握調査結果について (2) 平成28年度新潟県社会福祉協議会総合企画部会「地域における権利擁護事業の推進」小委員会報告書案について

推進目標2 福祉サービス利用者の苦情解決支援の充実

1 福祉サービス運営適正化委員会事業

日常生活自立支援事業の適正な運営の確保と福祉サービスに関する苦情の適切な解決を図るため「新潟県福祉サービス運営適正化委員会」業務を実施した。

(1) 新潟県福祉サービス運営適正化委員会の運営

① 新潟県福祉サービス運営適正化委員会の開催

期日・場所	協 議 事 項
第1回 5月26日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会委員長及び長の職務代理者の選出について ・小委員会の構成について ・利用援助事業調査小委員会委員長及び長の職務代理者の選出について ・苦情解決小委員会委員長及び長の職務代理者の選出について ・日常生活自立支援事業平成27年度事業実施状況について <ul style="list-style-type: none"> ・新潟市社会福祉協議会の事業実施状況 ・新潟県社会福祉協議会の事業実施状況 ・新潟県福祉サービス運営適正化委員会平成27年度事業報告について
第2回 3月9日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟市社会福祉協議会の日常生活自立支援事業平成29年度事業実施計画について ・新潟県社会福祉協議会の日常生活自立支援事業平成29年度事業実施計画について ・新潟県福祉サービス運営適正化委員会平成28年度事業実施状況及び平成29年度事業実施計画について

② 利用援助事業調査小委員会の開催

期日・場所	協 議 事 項
第1回 5月26日 新潟市	・日常生活自立支援事業平成28年度実施状況調査の方針等について
第2回 9月15日 新潟市	・日常生活自立支援事業平成28年度実施状況調査(書面調査結果・訪問調査実施方法)について
第3回 11月24日 新潟市	・日常生活自立支援事業平成28年度実施状況調査の結果について
第4回 3月9日 新潟市	・日常生活自立支援事業平成29年度実施状況調査の進め方について

③ 苦情解決小委員会の開催

期日・場所	協 議 事 項
第1回 5月26日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情申出案件の対応について 16件 ・苦情解決体制整備状況調査平成28年度スケジュールについて
第2回 8月5日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情申出案件の対応について 10件 ・苦情解決体制整備状況調査平成28年度結果について
第3回 9月15日 新潟市	・苦情申出案件の対応について 5件
第4回 11月24日 新潟市	・苦情申出案件の対応について 8件
第5回 1月26日 新潟市	・苦情申出案件の対応について 3件
第6回 3月9日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情申出案件の対応について 8件 ・苦情解決体制整備状況調査平成29年度の進め方について

(2) 福祉サービスに関する苦情等の受付・対応状況

① 受付実績

▶ 件数：46件（その他業務上の相談・照会等 89件の対応）

② 事業分野毎の苦情受付・対応状況

【申出人別受付件数】

区 分	高 齢	障 害	児 童	その他	合 計
利 用 者	2	11	0	0	13
家 族	15	8	5	1	29
代 理 人	0	0	0	0	0
職 員	1	0	1	0	2
そ の 他	1	1	0	0	2
合 計	19	20	6	1	46

【内容別受付件数】

区 分	高 齢	障 害	児 童	その他	合 計
職員の接遇	4	9	3	0	16
サービスの質や量	7	4	1	0	12
利用料	2	1	0	0	3
説明・情報提供	2	0	0	0	2
被害・損害	0	2	0	0	2
権利侵害	1	0	1	1	3
その他	3	4	1	0	8
合 計	19	20	6	1	46

【対応結果件数】

区 分	高 齢	障 害	児 童	その他	合 計
相談・助言	12	6	0	0	18
紹介・伝達	4	13	5	0	22
あっせん	0	0	0	0	0
通知	0	0	1	1	2
その他	1	1	0	0	2
継続中	2	0	0	0	2
意見・要望	0	0	0	0	0
合 計	19	20	6	1	46

(3) 福祉サービスに関する苦情解決研修会の開催

① 福祉サービスに関する苦情解決担当者研修会の開催

期日・場所等	内 容
6月21日 長岡市	事業説明「県内における苦情相談の状況等」 新潟県福祉サービス運営適正化委員会事務局

(参加者204名)	講義・演習「苦情受付担当者のための苦情解決能力向上研修」 株式会社ツクイスタッフ 教育研修担当 山郷 政史
-----------	--

② 福祉サービスに関する苦情解決責任者研修会の開催

期日・場所等	内 容
10月25・26日 新潟市 (参加者216名)	事業説明「県内における苦情相談の状況等」 新潟県福祉サービス運営適正化委員会事務局 講義・演習「苦情解決責任者のためのクレームを生まない職場づくり研修」 株式会社ツクイスタッフ 教育研修担当 山郷 政史

(4) 苦情解決の仕組みの普及・啓発

① 福祉サービス苦情解決体制整備状況調査の実施

社会福祉施設、事業者における苦情解決体制の整備と苦情の円滑な解決の推進を図ることを目的に、苦情解決体制の整備状況及び対応状況等について県内15ヵ所の施設を訪問し、調査を実施した。

- ▶ 対象 老人福祉施設5ヵ所、障害者福祉施設5ヵ所、児童福祉施設5ヵ所
- ▶ 内容 苦情解決体制の整備状況及び取組状況、第三者委員の活動状況、苦情対応状況

② 広報紙等への掲載

- ▶ 新潟県社協機関紙「福祉にいがた」に事業実施状況等に関する記事を掲載
- ▶ 行政等やマスコミの広報紙に福祉サービス運営委員会案内の広報依頼・掲載
- ▶ 福祉事業者への福祉サービス苦情相談ポスターの配布
- ▶ 新潟県社協ホームページにおいて苦情解決研修等を周知

③ 苦情解決ハンドブックの活用

事業所段階で必要な、苦情解決の取り組みや仕組みなどを掲載し、苦情解決制度の普及啓発を図った。
(新潟県社協ホームページにて配信)

(5) 日常生活自立支援事業実施状況調査の実施

日常生活自立支援事業において取り扱う利用者の預かり物件の管理状況や日常的金銭管理の状況等を確認するため、新潟市社会福祉協議会及び基幹的社会福祉協議会への訪問調査を実施した。

基本方針Ⅴ 福祉を支える人づくり

推進目標 1 福祉従事者の確保・就労の促進と働きやすい職場づくりへの支援

1 福祉人材センター運営事業

(1) 福祉人材センター運営委員会の開催

期日・場所	協議事項
1月30日 新潟市	・平成28年度福祉人材センター事業実施状況について ・平成29年度福祉人材センター事業計画について

(2) 福祉人材無料職業紹介所

福祉施設等への就職を希望する求職登録者とその雇用条件に見合う求人登録福祉施設等に紹介・斡旋する就労支援を行うとともに、福祉・介護人材の確保に取り組んだ。

①求人、求職の登録・斡旋等の実績

区分	取扱件数	内容
登録	求人 4,230名 (1,681施設) 求職 768名	[主な職種] 介護職、相談・支援員、看護職、ホームヘルパー 保育士、介護支援専門員、セラピスト
紹介・就職 (無料職業紹介)	紹介・応募 187名 採用 105名	・就職者の職種 介護職員52、相談・支援員23、事務職員11、ホームヘルパー4、 看護師4、介護支援専門員3、保育士3、その他5
インターネット による求人登録 職業紹介	アクセス 17,220件	・パソコン16,420件、モバイル800件
求人求職相談	相談 9,477件	[相談内容] ・求人4,245件、求職5,232件 [相談方法] ・来所3,846件、電話1,930件、FAX298件、郵便2,356件 メール284件、職場説明会763件
イベント相談 (求人求職相 談の再掲)	相談 65名	「就職フェア」(東京都人材センター) 8/28、相談 0人、登録 0人 「にいがた移住相談会」(新潟暮らし推進課：東京都) 10/9 相談 4人、登録 0人 「介護の日 県民のつどい」 11/13 相談 38人、登録 3人 「福祉・介護・健康フェア in 長岡」 11/23 相談 19人、登録 0人 「フクシ就職フェア2018」 3/11 相談 4人、登録 0人
出張相談 (求人求職相 談の再掲)	相談者63名	長岡支所での事前予約相談

(3) 啓発・広報事業

① 「介護の日」県民のつどいの開催

「介護の日」を契機に広く県民に介護についての理解と認識を深めてもらう機会を目的に、新潟県、新潟県社会福祉協議会、新潟県介護福祉士会及び日本介護福祉士養成施設協会関東信越ブロック新潟県部会の主催で開催した。（「福祉・介護・健康フェア」と同時開催）

期日・場所	内 容
11月13日 新潟市 (来場者 234人)	①養成校パネル展示（介護福祉士養成施設協会） ②認知症サポーター養成講座（県介護福祉士会：50人） ③フットケア講座（県介護福祉士会：20人） ④栄養・食事相談コーナー（県栄養士会：50人） ⑤看護・健康相談コーナー（県看護協会：29人） ⑥介護保険相談コーナー（新潟市社会福祉協議会：3人） ⑦就職相談コーナー（福祉人材センター：82人）

② 「福祉・介護・健康フェア in 長岡」への参加

長岡市で開催したフェアに福祉人材センターの相談コーナーを設置し、相談を実施した。

▶ 平成28年11月23日 長岡市 来場者68人

③ 福祉人材センターフェイスブック等の開始及びホームページの改修

- ▶ 12月28日、フェイスブック開始《新規》
- ▶ 1月下旬、ホームページ改修終了
- ▶ 3月25日、ブログ開始《新規》
- ▶ 3月27日、インターネット広告掲載《新規》

④ パンフレット等の作成

「ふくしの仕事ガイドブック」（福祉の職場や仕事の内容の概要版） 1,000部

(4) 求人・求職開拓の実施

① 求人事業所開拓

求人登録の増加を図ることを主目的として、福祉人材センターに求人登録を行っていない法人を中心に事業所訪問を行った。

(訪問目的)

福祉人材センター利用の周知・促進（登録・就職フェア）、事業所の現状の把握、福利厚生センター等の加入促進

月別実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問数	0	9	17	26	12	26	11	24	20	17	3	1	166

※訪問した結果、訪問先法人から延454人の求人登録があり、うち16名が就職した。

② 求職者開拓

求職登録者の増加を図るため、ハローワーク、介護職員初任者（実務者）研修実施機関、高校・大学・短大・専門学校等を訪問した。

(具体的な訪問目的)

- ▶ 福祉の仕事の理解や魅力の発信
- ▶ 福祉人材センター利用の周知・促進（登録・就職フェア・介護職場体験）
- ▶ 福祉の仕事内容、就職状況、福祉の資格取得方法等の説明

(月別実績)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問数	0	13	38	16	13	8	8	11	5	11	7	6	136

※訪問したことにより38人の求職登録があり、内9人が就職がした。

③ アドバイザーによる専門相談の実施

本会が委嘱した3人の「働きやすい職場づくり専門相談員（アドバイザー）」による相談を実施した。

【専門相談員（アドバイザー）】

- ▶ 弁護士 村上 裕
- ▶ 社会保険労務士・中小企業診断士 金子 勉
- ▶ 公認会計士・税理士 逸見 和宏

【相談内容・件数】

- ▶ 労務関係2件 ▶ 就業規則の見直し2件 ▶ 人事考課関係3件
- ▶ 利用者との契約内容1件 ▶ 施設利用料滞納の対応2件

④ 介護人材の緊急的な確保対策事業

ア 県内6カ所のハローワークでの定期的な福祉職場相談会

ハローワーク名	月回数	開催日	相談時間	実施回数	相談者数
長岡	1回	第3金曜日	10:00～11:30	11回	130名
上越	1回	第2水曜日	13:30～15:30	12回	209名
三条	1回	第3火曜日	13:30～15:00	11回	24名
柏崎	1回	第4火曜日	13:30～15:00	8回	11名
新発田	隔月	第1金曜日	13:30～15:00	6回	28名
巻	1回	第4金曜日	10:00～12:00	8回	18名
合 計				56回	420名

イ ハローワーク主催の福祉職場相談会

ハローワーク名	期 日	会 場	相談者数
新潟	6月15日	ハローワーク新潟	24名
新発田	11月15日	ハローワーク新発田	14名
上越	11月22日	ハローワーク上越	1名
合 計			39名

(5) 就職フェア等の開催

① 福祉の就職総合フェア2016の開催

期日・場所等	内 容
8月10日 新潟市 (参加者 49人) (参加法人 71カ所)	① 求人施設との集団・個別相談 ② 福祉の就職状況、就職活動方法、資格取得方法相談 ② 福祉人材確保機関との相談 (ハローワーク新潟、県ナースセンター、介護労働安定センター新潟支部、) ④ 参加法人資料の提供

② 福祉のしごとミニ面談会の開催

期 日・場 所	参加者数	参加法人数	内 容	
6月26日	新潟市	45人	8	①求人事業所との個別面談・集団面談 ②福祉人材センターの就職相談
7月9日	上越市	25人	11	
8月6日	長岡市	26人	32	
10月15日	新潟市	37人	20	
11月3日	長岡市	9人	10	
2月11日	新潟市	50人	16	
合 計	6回	192人	97	

③ 人材確保のためのプレゼン向上セミナーの開催

「福祉のしごとミニ面談会（8/6）」「福祉の就職総合フェア（8/10）」に参加決定した法人の当日参加する担当者を対象に、福祉の就職フェア等の人材採用時におけるプレゼンテーションを学び、就労促進を図るために開催した。

期日・場所	内 容
7月28日 新潟市 (参加者124人)	【講義・講演】 「人材確保のための効果的な仕組む作り」 ～フェア参加に向けて、知っておきたい基礎知識～ グローバルマーケティング株式会社 代表取締役 今井進太郎 【フェア当日のオリエンテーション】 「ミニ面談会・就職フェア参加における留意事項」 福祉人材センター 【当日ブース発表】 福祉人材センター

(6) 福祉のしごと就活さぼーとセミナーの開催

福祉職場等に就職希望する学生や福祉の仕事に関心のある学生を対象にこれからの就職活動の仕方についてのセミナーを開催した。

期日・場所	内 容
2月26日 新潟市 (参加者92名)	【講義・講演】 「就活の学生へ伝えたいメッセージ」 ・福祉の仕事を通して学んできたこと

	<p>・今の立場で伝えたい思い</p> <p style="text-align: center;">社会福祉法人 新潟みずほ福祉会 法人本部 人事担当 大 瀧 剛</p> <p>【講義・演習】</p> <p>「効果的な就職活動の方法とは」</p> <p>・就職フェア、面談会等での効果的な自己PRの方法等</p> <p style="text-align: center;">社会福祉法人 更生慈仁会 障害者自立支援施設 十字園 園 長 古 俣 健</p>
--	---

◎ (7) 2018フクシ就職フェア（新潟県内社協職員連絡会共催）

フクシ人材の確保を図るため、福祉分野へ就職を希望する2018年3月卒業予定・第2新卒者を対象に、福祉事業所とのマッチングの機会を提供する就職フェアを実施した。

期日・場所	内 容
3月11日 新潟市 (参加者190人) (参加法人15法人)	①出展法人リレートーク ②ブース型会社説明会 ③トークイベント ④ワークショップ

(8) 福祉職場体験事業

介護の職場の雰囲気やサービスの内容を直接知ってもらい、円滑に就職ができるように実施した。

体験者	体験者数	体験日数	体験延日数
就労希望者	30名	1～5日	65日
高校生	37名	1～5日	75日

◎ (9) 長岡支所の開設

- ▶ 平成28年4月1日開設
- ▶ 場所：長岡市社会福祉センター内（11月1日に、長岡駅前に移転。）
- ▶ 相談日時：毎週月曜～木曜 10:00～15:00(事前予約制)

【相談実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談者数	11	9	10	3	3	4	1	5	6	2	1	8	63
求職登録者数	7	8	7	2	2	4	0	2	2	0	1	5	40
就職者数	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
相談日数	7	6	6	2	3	3	1	1	2	2	1	5	39

◎ (10) 人材確保・定着率向上事例調査の実施

人材確保や職員定着に役立つ事例を収集して、高齢者福祉施設等に周知し、各施設の人材確保・定着促進について参考にしてもらうために、調査対象施設2,290カ所のうちから、979カ所

を抽出して調査依頼をし、事例集を作成・配布した。

- ▶ 調査対象施設種類 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設
有料老人ホーム、デイサービスセンター等
- ▶ 調査基準日 平成29年1月1日
- ▶ 調査票回収施設数 409カ所（回収率41.8%）
- ▶ 事例集の作成・配布 21カ所の施設から事例の寄稿をいただき、3,000部作成し、調査対象施設や関係機関に配布した。

(11) 福祉人材にかかる関係機関・団体との連携

① 福祉人材養成機関連絡会議の開催

今後の福祉人材確保の推進に向けて、福祉人材養成機関等、求人事業所、新潟県、福祉人材センターが、現状と課題等の意見交換をした。

期日・場所	協 議 事 項
7月19日 新 潟 市 (参加者23人)	①行政説明 ②無料職業紹介所の状況 ③福祉施設と養成機関の連携について ④意見交換 〔参加者〕福祉人材養成機関、求人事業所、新潟県、福祉人材センター

◎ (12) 離職介護福祉士届出事業周知の実施

離職者した介護福祉士等に対して、福祉人材センターに届出をすることによって、就職フェア・セミナーの開催、求人情報等を提供し復職に役立つ支援をするための周知を実施した。（福祉人材センターの離職者の登録システムが4月から稼働）

2 介護福祉士等修学資金貸付事業

(1) 介護福祉士等修学資金貸付事業（福祉・介護人材の緊急的な確保対策）

福祉・介護分野への就労の促進を図ることを目的として、介護福祉士及び社会福祉士養成施設の入学者を対象に修学資金の貸付けを行った。

① 貸付決定実績

	介護福祉士		社会福祉士		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
修学資金	3	5,400,000	0	0	3	5,400,000
入学準備金	0	0	0	0	0	0
就職準備金	3	600,000	0	0	3	600,000
生活費加算	2	2,160,000	0	0	2	2,160,000
合 計	8 (3)	8,160,000	0 (0)	0	8 (3)	8,160,000

※件数の（ ）内は実人員

② 貸付金交付実績

	介護福祉士		社会福祉士		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
修学資金	6	3,600,000	0	0	6	3,600,000
入学準備金	0	0	0	0	0	0
就職準備金	2	400,000	0	0	2	400,000
生活費加算	2	720,000	0	0	2	720,000
合 計	10 (6)	4,720,000	0 (0)	0	10 (6)	4,720,000

※件数の（）内は実人員、平成26年度貸付決定者3名、平成28年度貸付決定者3名

③ 養成校卒業後者の新潟県内の福祉職場への就労実績

	介護福祉士	社会福祉士	合 計
県内福祉職場就労者	2名 (2)	0名 (0)	2名 (2)

※（）内は卒業者数

④ 貸付金の返還及び免除の実績

	介護福祉士		社会福祉士		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
貸付金の返還	44	11,981,811	2	415,300	46	12,397,111
貸付金の免除	58	78,962,781	7	6,810,000	65	85,772,781

3 社会福祉従事者福利厚生事業

(1) 県民間社会福祉職員退職積立基金事業

本会会員である民間社会福祉施設・団体職員の退職の際に、一時金等を支給する退職手当制度の運営にあたり、資産管理及び運営状況等の情報を開示し、適正な制度運営を行った。

① 加入状況（平成29年3月31日現在）

- ▶ 加入施設・団体数：612施設・団体
- ▶ 加入職員数：22,121名

② 給付状況（平成29年3月31日現在）

- ▶ 脱退一時金支給1,576名

③ 運営委員会

期日・場所	内 容
第1回 7月25日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度収支決算及び運営実績 ・平成27年度運用実績と今後の運用方針 ・平成28年度第1次補正予算について
第2回 2月20日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度運営状況及び補正予算(案) ・平成29年度収支予算(案) ・平成28年度運用実績と今後の市場の見通し ・財政再計算の結果について

(2) 社会福祉施設職員退職手当共済事業

独立行政法人福祉医療機構が取り扱う「社会福祉施設職員等退職手当共済制度」において、退職給付関係書類の厳正な受付事務を行い、適正な制度運営に努めた。

(3) 社会福祉事業従事者福利厚生事業（福利厚生センター）

民間社会福祉事業従事者の福利厚生事業を全国規模で実施する「福利厚生センター」の県事務局として、会員交流事業等の実施により福利厚生の充実に努めた。

また、新潟県内における福利厚生センター加入施設の担当者に向けて、事業に対するニーズを把握し、今後の事業運営の参考とするためにアンケート調査を行い、その結果を事業運営に反映するよう努めた。

- ▶ 加入法人数：50法人(160事業所)
- ▶ 加入職員数：4,249名

① 福利厚生企画・情報会議

期日・場所	協 議 事 項
1月31日 新潟市	・平成28年度福利厚生センター事業実施状況について ・平成29年度福利厚生センター事業計画について

② 会員交流事業

期日・場所	内 容	参加人数
4月12日～13日 新潟市・上越市	・宝塚歌劇 月組全国ツアー	20名
6月16日 新潟市	・それいけ！アンパンマンミュージカル ～おかしな国のおかしなパーティ～	94名
7月9日 新潟市	・爆笑お笑いフェス in 新潟	60名
6月14日 新潟市	・プロ野球セ・パ交流戦「横浜 DeNA ベイスターズ VS 北海道日本ハムファイターズ」	69名
6月21日～22日 新潟市	・Kazumasa Oda Tour 2016 君住む街へ	61名
6月25日～26日 新潟市	・AAA ARENA TOUR 2016 ～LEAP OVER～	18名
8月6日～7日 新潟市	・ディズニー・ライブ！ミッキーのミュージックパーティー！！	25名
8月20日 上越市	・米村でんじろうサイエンスショー in 上越	30名
9月10日 新潟市	・きかんしゃトーマス ファミリーミュージカル	12名
8月7日 上越市	・平成28年度 夏巡業 大相撲上越妙高場所	8名
8月19日～20日 千葉県	・ディズニーリゾートの旅【第1回】～ステキな夏の思い出を～	38名
8月2日 長岡市	・長岡まつり大花火大会鑑賞	40名
7月13日～3月31日 新潟市	・【酒造フェア2016】「御茶処いちしま」日本庭園ランチ	56名
7月13日～2月28日 長岡市	・【酒造フェア2016】 「あさひ山 蛸庵」ランチ&日本酒の酒造見学	48名
7月13日～2月28日 新潟市	・【酒造フェア2016】「佳肴 あさひ山」で大人ランチ	40名
7月13日～2月28日 新潟市	・【酒造フェア2016】日本酒 越乃寒梅 きた山	15名
7月13日～2月28日 新潟市	・【酒造フェア2016】越乃寒梅 Manjia	6名
9月9日～30日 新潟県内	・【酒造フェア2016】「越乃 Shu * Kura」お酒と音楽を 楽しむリゾート列車の旅	6名

11月13日	新潟市	・プラハ国立歌劇場 オペラ ガラコンサート	2名
12月10日～11日	千葉県	・ディズニーリゾートの旅【第2回】 ～東京ディズニーランドでパーク・ファン・パーティ～	63名
12月17日～3月31日	新潟県内	・ちょっとセレブに 日帰り温泉♨でリフレッシュ	200名
12月17日～3月31日	新潟県内	・うれしさいっぱいミールクーポン	382名
3月23日	上越市	・辻井伸行日本ツアー 《バッハ・モーツァルト・ベートーヴェン》	14名
3月23日	新潟市	・立川志の輔 独演会	21名
3月3日	大阪市	・飛行機で行くユニバーサル・スタジオ・ジャパンの旅	33名
6月4日～8月21日	長岡市	・モネ展	126名
7月16日～10月10日	新潟市	・スタジオジブリ・レイアウト展	73名
7月1日～12月31日	新潟県内	・映画鑑賞割引券（提携映画館）	2,278名
11月3日～1月15日	新潟市	・アンパンマンとやなせたかし展	31名
2月11日～26日	阿賀野市	・2017ウインターガーデニングショー in にいがた	83名

③ 会員交流事業（施設利用事業等）

メニュー	施設等名
入場料・利用料助成	サントピアワールド、朝日きれい館、アクア-レ長岡、ミオンなかさと、だいろの湯、舞子リゾート（日帰り温泉・ディスクゴルフ・グラウンドゴルフ）湯沢中里フォレストアドベンチャー、湯沢中里ファミリーショートコース

④ 地域開発メニュー（施設利用事業等）

メニュー	施設等名
利用料割引	上越グリーンプラザホテル、新樽ヶ橋温泉クアハウスたいない、ホテル太閤、舞子高原ホテル、NASPAニューオータニ、めんめん亭わたや
入館料割引	野天風呂湯元龍泉、桂の関温泉ゆ〜む、秋葉温泉花水、多宝温泉だいろの湯、メイワサンピア
リフト券等割引	六日町スキーリゾート、奥只見丸山スキー場、NASPAスキーガーデン、舞子スノーリゾート、湯沢中里スキー場、ニノックススノーパーク
割引斡旋	白石薬品(株)家庭常備薬、丸大食品(株)お中元お歳暮商品
チケット先行予約	キョードー北陸、FOB企画、テレビ新潟

推進目標2 介護の理解促進と知識・技術の普及・促進

1 介護実習・普及センター運営事業

(1) 介護実習・普及センター運営委員会

期日・場所	協議事項
2月9日 新潟市	・正副委員長の選任について ・平成28年度介護実習・普及センター事業実施状況について ・平成29年度介護実習・普及センター事業計画(案)について

(2) 県民介護知識・技術習得講座

① 総合習得コース

期日・場所等	内 容
7月コース 4. 15. 20日 21. 22. 25日 長岡市 (参加者28名)	講義「介護保険制度の仕組みとサービス」 特別養護老人ホームこうめの里 園長 宮崎 則男 新潟市地域包括支援センターにいつ日宝町管理者 本間 良 講義「認知症の理解」 高齢者総合福祉相談センター福住 研究・研修センター長岡 センター長 遠藤 真一 グループホーム川崎東 管理者 多田 良 介護老人福祉施設中之島 統括主任 佐藤みどり グループホーム新組 管理者 山本 里花
9月コース 6. 12. 13日 16. 21. 26. 日 新潟市 (参加者33名)	講義「高齢者・障がい者の理解」 新潟県燈々会在宅保健師の会会員 笠原 孝子、青木 直子、近 百合、石川 吉子
11月コース 1. 7. 8日 11. 15. 21日 新潟市 (参加者21名)	講義「在宅介護の基礎知識」 新潟県介護福祉士会会員 近藤 トシコ、山崎沙耶香 講義「地域におけるつながり」 敬和学園大学准教授 山崎 ハコネ 新潟市地域包括支援センターにいつ日宝町管理者 本間 良 体験「高齢者疑似体験と福祉用具」
12月コース 7. 12. 13日 16. 21. 26日 新潟市 (参加者23名)	あおやまメディカル株式会社 ユニゾンプラザ店・福祉用具専門相談員 実技「基本介護技術の実際」 新潟県介護福祉士会会員 佐藤 久枝、小林 明子、岩崎 朋子、近藤 トシコ、 長谷川美穂子、高橋 恵子、寺崎 明子 実技「家庭における緊急時の対応」 日本赤十字社救急法指導員 長島 和正

② 介護技術習得コース

期日・場所等	内 容
第1回 6月7. 8. 14日 新潟市 (参加者30名)	実技「基本介護技術の実際」 新潟県介護福祉士会会員 佐藤 久枝、長谷川 美穂子、近藤 トシコ、 小林 明子、岩崎朋子、高橋恵子、宮 淑恵
第2回 8月24. 25. 26日 長岡市 (参加者24名)	
第3回 10月17. 18. 21日 新潟市	

(参加者25名) 第4回 2月15.16.20日 新潟市 (参加者28名)	
---	--

③ 介護体験・入門コース

期日・場所等	内 容
第1回 6月1日 上越市 (参加者27名)	実技「仰臥位から端座位への介助法」 実技「車椅子及びポータブルトイレの介助」 新潟県介護福祉士会会員 佐藤 久枝、長谷川 美穂子
第2回 6月2日 上越市 (参加者27名)	実技「車イスの介助」 実技「排泄の介助」 新潟県介護福祉士会会員 佐藤 久枝、長谷川 美穂子
第3回 7月30日 新潟市 (参加者30名)	講義「認知症の理解」 高齢者総合福祉相談センター福住 センター長 遠藤 真一 実技「ベット上の移動」 新潟県介護福祉士会会員 佐藤 久枝、長谷川 美穂子
第4回 8月7日 新潟市 (参加者32名)	講義「介護保険制度の仕組みとサービス」 特別養護老人ホームこうめの里 園長 宮崎 則男 実技「食事介助と排泄の介助」 新潟県介護福祉士会会員 佐藤 久枝、長谷川 美穂子
第5回 8月21日 新潟市 (参加者32名)	実技「車椅子の介助」 実技「在宅介護に活かす清潔の介助」 新潟県介護福祉士会会員 佐藤 久枝、長谷川 美穂子
第6回 2月26日 新潟市 (参加者14名)	実技「ベットからの立ち上がり介助」 実技「ポータブルトイレの介助」 新潟県介護福祉士会会員 佐藤 久枝、長谷川 美穂子

◎ (3) 認知症ケアステップアップセミナー

期日・場所等	内 容
第1回 1月26.27日 新潟市 (参加者28名)	1日目 講義「パーソン・センタード・ケアとは？」 「本人視点による認知症の人へのアプローチ」 2日目 講義「ひもときシートってなに？ひもときシート活用ポイント」

第2回 3月1.2日 長岡市 (参加者24名)	個人ワーク 講義「ひもときシート記入の仕方」 グループワーク 演習「組織（施設）として認知症ケアを効果的に推進するために」 高齢者総合福祉相談センター福住 研究・研修センター長岡 センター長 遠藤 真一 公益社団法人 認知症の人と家族の会 新潟県支部 副代表 等々力 努 (社)新潟県介護福祉士会 副会長 西本 円 クラレテクノ(株)ちゅ-りっぶ苑 副苑長 新野 直紀
----------------------------------	---

◎ (4) 認知症ケアステップアップセミナーに関する専門企画会議

期日・場所	協 議 事 項
7月12日	①パーソン・センタード・ケアに関する理念や介護技術の習得方法
8月9日	②認知症ケアチームを効果的・効率的に機能させるリーダーの養成について
10月17日	
12月15日	
新潟市	

(5) 介護を中心とした高齢者のニーズにかかる情報提供

- ▶ 福祉用具の展示
- ▶ 福祉用具・住宅改修等の相談、助言及び高齢者疑似体験の実施
- ▶ 福祉用具に関する情報提供と普及促進

2 介護等体験事業(教育職員免許法の特例に伴う「介護等の体験」事業)

教育職員免許法の特例に基づき、小・中学校教諭の普通免許取得希望者に義務づけられている介護等体験の社会福祉施設への受入が適正かつ円滑に実施されるよう、斡旋、調整を行った。

- ▶ 受入調整実績：体験受入施設数212施設 体験者数608名

推進目標3 福祉従事者の養成と資質向上の推進

1 社会福祉研修センター運営事業

(1) 社会福祉研修事業運営委員会

期日・場所	協 議 事 項
1月19日 新潟市	・平成28年度事業実施状況及び平成29年度事業計画(案)について

(2) 社会福祉行政職員研修(県受託研修)

① 福祉行政新任職員研修

福祉行政に携わる新任職員を対象に、行政職員として必要な知識・技術の習得と役割の自覚、業務の適正処理を図ることを目的に実施した。

期日・場所等	内 容
5月18～19日 新潟市 (受講者36名)	講義「生活保護と生活困窮者自立支援制度について」 県福祉保健部福祉保健課 保護係 主査 小林 誠 講義「高齢者の保健福祉施策」 県福祉保健部 高齢福祉保健課 副参事・高齢化対策係長 田村 一義 講義「児童の福祉施策」 県福祉保健部少子化対策課 副参事・保育支援係長 中村 広 県福祉保健部児童家庭課 副参事・家庭福祉係長 大原 圭 講義「社会福祉行政論」 新潟大学 歯学部口腔生命福祉学科教授 高橋 英樹 講義「障害者の福祉施策」 県福祉保健部障害福祉課 自立支援係長 涌井 陽子 講義「地域福祉の推進について」 県社会福祉協議会地域福祉課 課長代理 中原 敦子 講義・グループワーク「地域包括ケアを推進するために」 新潟大学 歯学部口腔生命福祉学科准教授 中川 兼人

(3) 社会福祉施設職員研修（県受託研修）

社会福祉施設役職員を対象に、経験年数に応じた階層別や職種を考慮した研修により、業務に従事する上で必要な専門知識や技術の習得を図ることを目的に実施した。

① 新任職員研修

期日・場所等	内 容
第1回 6月1～2日 新潟市 (受講者113名)	講義「社会福祉の理念・動向」 新潟医療福祉大学 社会福祉学科教授 横山 豊治 新潟県社会福祉士会会長 星井 勝博 講義・演習「福祉サービスの実践」
第2回 6月16～17日 三条市 (受講者118名)	あかりケアプランセンター管理者 西本 円 障害者支援施設新潟みずほ園生活支援課課長 金子 浩 障害者支援施設リハビリセンター王見台療養部課長 稲川 克弘 講義・演習「チームワークとリダーシップ」～チームワークの基本～
第3回 6月22～23日 新潟市 (受講者125名)	特定非営利活動法人ワーキングウイメンズアソシエーション常任理事 西條 和佳子 講義・演習「組織活動」～組織活動の基本・職場の基本動作～ 認定特定非営利活動法人新潟NPO協会理事 井上 基之 NPO法人新潟ねっと代表理事 村山 賢
第4回 6月29～30日 新潟市 (受講者86名)	講義・演習「能力開発」～自己啓発の基本～ 新潟大学 教育・学生支援機構企画室／経営戦略本部学長室 准教授 澤邊 潤

② 中堅職員研修

期日・場所等	内 容	
第1回 6月7～8日 新潟市 (受講者98名)	講義・演習「チームワークとリーダーシップ」～チームワークの促進～ 特定非営利活動法人新潟 NPO 協会理事 グローバルマーケティング(株)代表取締役	今井 進太郎
第2回 7月5～6日 新潟市 (受講者137名)	講義・演習「組織活動」～組織活動の自律的遂行～ 新潟医療福祉大学 社会福祉学科特任教授 講義・演習「能力開発」～自己啓発・相互啓発の基本～ 新潟医療福祉大学 社会福祉学科特任教授	武井 恒美
第3回 7月19～20日 三条市 (受講者130名)	講義・演習「職場の問題解決」～自律的問題解決～ 新潟県社会福祉士会会長 講義・演習「福祉サービスの実践」 新潟青陵大学短期大学部 人間総合学科准教授 障害福祉サービス事業所 ポプラの家所長	星井 勝博 柳澤 利之 山賀 亮一

③ 指導的職員研修

期日・場所等	内 容	
第1回 6月20～21日 新潟市 (受講者73名)	講義・演習「社会福祉の理念・動向」 新潟大学 歯学部口腔生命福祉学科教授 講義・演習「能力開発」～職員指導の育成・展開～ 新潟医療福祉大学 社会福祉学科長・教授	高橋 英樹 松山 茂樹
第2回 6月27～28日 新潟市 (受講者60名)	講義・演習「職場の問題解決と課題形成」 新潟医療福祉大学 社会福祉学科長・教授 講義・演習「チームワークとリーダーシップ」 (株)コーチエンタープライズ代表取締役	松山 茂樹 諸橋 奈々
第3回 7月21～22日 新潟市 (受講者78名)	講義・演習「組織活動」～部門及び全所的組織活動の管理～ 新潟医療福祉大学 副学長・社会福祉学部長	丸田 秋男

④ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程〈初任者コース〉

期日・場所等	内 容	
第1回 8月17～18日 三条市 (受講者48名)	講義・演習「研修の目的」 「キャリアデザインとセルフマネジメント」 相談支援センターみなみうおぬま施設長	高野八千代
第2回 8月24～25日 新潟市 (受講者68名)	講義・演習「福祉サービスの基本理念と倫理」 「メンバーシップとフォロワーシップ」 新潟県介護福祉士会会長 講義・演習「対人関係マナーとコミュニケーション」 新潟医療福祉大学 社会福祉学科助教 講義・演習「福祉職員としての能力開発」	宮崎 則男 丸山 仁

	「業務課題の解決と実践研究の進め方の基礎」	
	「福祉サービスとリスクマネジメント」 他啓発科目	
	新潟医療福祉大学 社会福祉学科助教	丸山 仁
	講義・演習「行動指針マップの策定」	
	新潟県介護福祉士会会長	宮崎 則男
	講義・演習「キャリアデザインシートと行動計画の策定」	
	相談支援センターみなみうおぬま施設長	高野八千代

⑤ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程〈中堅職員コース〉

期日・場所等	内 容	
第1回 9月14~15日 新潟市 (受講者72名)	講義・演習「研修の目的」 「キャリアデザインとセルフマネジメント」 障がい者支援施設 緑風園園長 高齢者総合福祉相談センター福住	渡辺 陽一
第2回 10月26~27日 新潟市 (受講者53名)	研究・研修センター長岡センター長 講義・演習「福祉サービスの基本理念と倫理」 「メンバーシップとフォロワーシップ」 障がい者支援施設 緑風園園長 高齢者総合福祉相談センター福住	遠藤 真一 渡辺 陽一
第3回 11月14~15日 三条市 (受講者62名)	研究・研修センター長岡センター長 講義・演習「チームケアと問題解決」 障がい者支援施設 緑風園園長 高齢者総合福祉相談センター福住 研究・研修センター長岡センター長	遠藤 真一 渡辺 陽一 遠藤 真一
	講義・演習「中堅職員としての能力開発」 「業務課題の解決と実践研究」 「利用者の尊厳を守る福祉サービスとリスクマネジメント」	他啓発科目
	特別養護老人ホーム 白ふじの里園長 高齢者総合福祉相談センター福住 研究・研修センター長岡センター長	佐野 一美 遠藤 真一
	講義・演習「行動指針マップの策定」 特別養護老人ホーム 白ふじの里園長 高齢者総合福祉相談センター福住 研究・研修センター長岡センター長	佐野 一美 遠藤 真一
	講義・演習「キャリアデザインシートと行動計画の策定」 特別養護老人ホーム 白ふじの里園長 高齢者総合福祉相談センター福住 研究・研修センター長岡センター長	佐野 一美 遠藤 真一

⑥ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程〈チームリーダーコース〉

期日・場所等	内 容
第1回 10月11～12日 三条市 (受講者53名)	講義・演習「研修の目的」 「チームリーダーとしてのキャリアデザインと セルフマネジメント」 障害福祉サービス事業所 ポプラの家所長 山賀 亮一
第2回 11月29～30日 新潟市 (受講者77名)	講義・演習「福祉サービスの基本理念と倫理」 「チームリーダーとしてのリーダーシップの醸成」 障害福祉サービス事業所 ポプラの家所長 山賀 亮一 講義・演習「OJTの効果的推進」 「問題解決等会議の効果的な進め方」 障害福祉サービス事業所 ポプラの家所長 山賀 亮一 講義・演習「チームリーダーとしての自己成長と職場研修の推進」 「業務課題の解決と実践研究」 「サービスの質の確保・向上リスクマネジメント」 他啓発科目 特別養護老人ホーム 新潟東愛宕の園施設長 後藤 孝志 講義・演習「行動指針マップの策定」 特別養護老人ホーム 新潟東愛宕の園施設長 後藤 孝志 講義・演習「キャリアデザインと行動計画の策定」 特別養護老人ホーム 新潟東愛宕の園施設長 後藤 孝志

⑦ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程〈管理者コース〉

期日・場所等	内 容
9月29～30日 新潟市 (受講者52名)	講義・演習「研修の目的」 「管理職員としてのキャリアデザインと環境整備」 講義・演習「福祉サービスの基本理念と倫理」 「組織・部門管理者としてのリーダーシップの醸成」 講義・演習「利用者本位サービス実現と権利侵害防止に向けた取り組み」 講義・演習「管理職員としての能力開発と人材育成」 「法人・事業所の業務の改善、組織の問題解決」 「福祉経営とリスクマネジメント」 他啓発科目 講義・演習「行動指針マップの策定」 講義・演習「キャリアデザインと行動計画の策定」 日本女子大学 社会福祉学科教授 久田 則夫

⑧ 福祉施設運営管理者研修

期日・場所等	内 容
7月12日 新潟市 (受講者83名)	講義・演習「社会福祉施設における組織管理・運営管理～施設・事業 所発展のための人材採用術～」 らしさ研究所 代表 門野 友彦

◎◎ 社会福祉法人監事研修

期日・場所等	内 容
7月27日 新潟市 (受講者58名)	講義 「指導監査の実施について」 新潟県福祉保健部福祉保健課 地域福祉班政策企画員 相澤 秀彦 新潟県福祉保健部国保・指導課 福祉指導班主任 菅原 学 講義 「社会福祉制度改革に対応した監査の進め方」 「会計監査・業務監査のポイント」 太陽有限責任監査法人 公認会計士 宮内 威

⑩ 接遇研修〈初任者コース〉

期日・場所等	内 容
第1回 6月3日新潟市 (受講者70名)	講義・演習「接遇の基本」 ～福祉サービスの心構えとマナー～ 講義・演習「職場における実践マナー」
第2回 6月13日三条市 (受講者63名)	特別養護老人ホーム白ふじの里園長 佐野 一美
第3回 6月24日新潟市 (受講者75名)	

⑪ 接遇研修〈リーダー養成コース〉

期日・場所等	内 容
第1回 7月7日新潟市 (受講者79名)	講義「接遇対応の基本」 講義・演習「リーダーの役割と問題解決の方法」 ～職員の意識改革と組織開発を考える～
第2回 7月14日新潟市 (受講者81名)	新潟医療福祉大学 社会福祉学科助教 丸山 仁
第3回 7月25日三条市 (受講者69名)	

⑫ 職場研修担当職員研修〈前期コース〉

期日・場所等	内 容
8月8～9日 新潟市 (受講者83名)	講義「これからの福祉人材育成と職場研修」 ～職場研修をデザインする～ 講義・演習「職場研修の考え方と推進方法」 ～自職場の現状と課題の明確化～ 講義・演習「職場研修の推進実態を診断する」 ～自職場の現状と課題の明確化～

	講義・演習「研修ニーズ分析と年度計画の策定」 ～“職員に受ける”研修を企画する～ 新潟医療福祉大学 社会福祉学科助教 丸山 仁
--	---

⑬ 職場研修担当職員研修〈後期コース〉

期日・場所等	内 容
8月31～9月1日 新潟市 (受講者83名)	講義・演習「OJT活性化施策の推進」 ～個人へのアプローチ～ 講義・演習「意図的・計画的指導の推進」 ～集団へのアプローチ～ 講義・演習「OFF-JTによる職場研修の推進」 ～研修に用いる技法と、視点・手法～ 講義・演習「職場研修担当者の役割と課題」 ～アクションプランの作成～ 新潟医療福祉大学 社会福祉学科助教 丸山 仁

⑭ 社会福祉施設看護職員研修

期日・場所等	内 容
11月17日 新潟市 (受講者98名)	講義・演習 「施設における看護職の役割」 ～多職種連携及びリスクマネジメント～ 特別養護老人ホーム 白ふじの里園長 佐野 一美 演習 「安全管理（感染症）における事例」の発表及び検討 「障がい関係」 十字園 課長補佐 野口 恵 「児童関係」 ひだまり保育園 園長 朝妻 真美 「高齢関係」 桜ガーデンプレイス福住 副支配人兼看護主任 長谷川 照美 演習 「感染症まん延防止対策」 ～図上訓練からマニュアルを検証する～ 特別養護老人ホーム 白ふじの里園長 佐野 一美 特別養護老人ホーム さわたりの郷 サービス課医務課長 村川 英伸

(4) 社会福祉課題別研修（県社協自主研修）

社会福祉施設役職員を対象に、職種・研修ニーズを考慮した課題別の研修により、業務に従事する上で必要な専門知識や技術の習得を図ることを目的に実施した。

① 社会福祉トップセミナー

期日・場所等	内 容
10月5日 新潟市 (受講者52名)	講義 「社会福祉法人の存在意義を今一度考える」 ～求められる地域との連携と公益的取り組み～ 社会福祉法人天竜厚生会 理事長 山本 たつ子

◎② 社会福祉法人制度改革対応セミナー（前期）（新潟県社会福祉法人経営者協議会共催）

期日・場所等	内 容
7月29日 新潟市 (受講者283名)	講義 「社会福祉法改正への対応と実践」 全国社会福祉法人経営者協議会 研修委員長 湯川 智美 事業説明 「改正法施行に向けた会員法人向け支援ツールについて」 全国社会福祉法人経営者協議会事務局

◎③ 社会福祉法人制度改革対応セミナー（後期）（新潟県社会福祉法人経営者協議会共催）

期日・場所等	内 容
12月9日 新潟市 (受講者261名)	講義 「改正法を活かした社会福祉法人の法人経営」 全国社会福祉法人経営者協議会 保育事業経営委員長 宮田 裕司 事業説明 「改正法施行に向けたチェックポイント」 全国社会福祉法人経営者協議会事務局

④ アクティビティ・ケア研修

期日・場所等	内 容
7月1日 新潟市 (受講者136名)	講義「アクティビティ・ケアの基礎理論」 実技「アクティビティ・ツールの制作と実践」 高齢者アクティビティ開発センター代表 多田 千尋 説明 「アクティビティ・ケア新潟支部の活動について」 高齢者アクティビティ開発センター アクティビティ・ケア新潟支部支部長 今井 康子 実践発表「アクティビティ・ケア実践活動について」 高齢者アクティビティ開発センターアクティビティ・ケア新潟支部 副支部長 齊藤 まみ 運営委員 小田 理恵 交流学习「心を動かす」コミュニケーション実践 講義・まとめ 「アクティビティ・ケアの実践に向けて」 高齢者アクティビティ開発センター代表 多田 千尋

⑤ 気づく力研修

期日・場所等	内 容
第1回 8月3日 新潟市 (受講者136名)	講義・演習「今、中堅職員に求められること」 ～人が育ち・職場が変わる気づき力～ 日本女子大学 社会福祉学科教授 久田 則夫
第2回 8月23日 新潟市 (受講者143名)	

⑥ コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修

期日・場所等	内 容
8月4～5日 新潟市 (受講者69名)	講義「コミュニティソーシャルワークの視点と方法」 講演「コミュニティソーシャルワークの視点による個別アセスメント」 講演「コミュニティソーシャルワークの視点による地域アセスメント」 講演「コミュニティソーシャルワークの視点によるプランニング」 総括 日本社会事業大学 福祉計画学科准教授 菱沼 幹男

⑦ 認知症ケア・対応研修

期日・場所等	内 容
第1回 8月30日新潟市 (受講者144名)	講義・演習「認知症の理解」 講義・演習「認知症の人のケアのあり方」 新潟青陵大学 社会福祉学科学科長・教授 荒木 重嗣
第2回 9月23日新潟市 (受講者168名)	

⑧ コミュニケーションスキルアップ研修〈初任者コース〉

期日・場所等	内 容
9月1日 新潟市 (受講者157名)	講義・演習「話上手よりも聞き上手になろう」 講義・演習「相手に届けたい声、相手に届く挨拶」 「タッチによるコミュニケーション インタラクション」 「自分の対人的位置と対人的距離の傾向や特徴を知る」 「家族との信頼関係をつくりだすコミュニケーション」 講義・演習「善意ある介護者の心が不適切行為に転じるとき」 新潟青陵大学 社会福祉学科学科長・教授 荒木 重嗣

⑨ コミュニケーションスキルアップ研修〈リーダーコース〉

期日・場所等	内 容
9月6日 新潟市 (受講者129名)	講義・演習「組織・チームを動かすコミュニケーションの基本」 ～先頭に立つリーダーから、「しんがり」を努めるリーダーへ～ 講義・演習「コーチングスキルをコミュニケーションに活かそう」 講義・演習「学びのワークショップ」 ～話合い、議論することから学ぶコミュニケーション～ 新潟青陵大学 社会福祉学科学科長・教授 荒木 重嗣

⑩ メンタルヘルス研修〈一般職員コース〉

期日・場所等	内 容
9月8日	講義・演習「メンタルヘルスの基礎知識」

新潟市 (受講者121名)	「ストレス対策の基本」 講義・演習「対人援助職のメンタルヘルス」 「セルフケアのための方法」 新潟医療福祉大学 社会福祉学科特任教授 伊東 正裕
------------------	---

⑪ モチベーションアップ研修

期日・場所等	内 容
第1回 12月12日 新潟市 (受講者101名)	講義・演習 「感情労働とモチベーションアップ」 ～チームの「元気」の支え方～ ケアタウン総合研究所 代表 高室 成幸
第2回 12月13日 三条市 (受講者87名)	

⑫ 看取りケア研修

期日・場所等	内 容
12月14日 新潟市 (受講者140名)	講義「看取りケア」 新潟県看護協会理事 看護師職能Ⅱ委員長 本間 美知子 講義「看取りケア」 ～開設からの経過～ 新潟県看護協会 看護師職能Ⅱ委員 小松 順子 演習「施設での取組や課題を元にしたグループワーク」 「グループ発表」「発表の講評・助言」 新潟県看護協会理事 看護師職能Ⅱ委員長 本間 美知子 新潟県看護協会 看護師職能Ⅱ委員 小松 順子

⑬ 口腔ケア研修

期日・場所等	内 容
12月5日 新潟市 (受講者129名)	講義 「口腔ケアの必要性・効果と実際」 新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔生命福祉学講座 福祉学分野教授 大内 章嗣 講義・実習「口腔ケアの実際とドライマウス」 講義・実習「食事介助の基本」 演習「グループワークと振り返り」 ～口腔ケアを進めるために～ 新潟大学医歯学総合病院 口腔リハビリテーション科 病院講師 伊藤 加代子 新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔生命福祉学講座 福祉学分野 教授 大内 章嗣

◎⑭ コーチング研修

期日・場所等	内 容
11月7日 新潟市 (受講者140名)	講義 「コーチングとは」 ～コーチングの基本的理解～ 講義・演習 「コーチングスキルの習得・実践」 「コミュニケーションの方法・実践」 (株) コーチエンタープライズ代表取締役 諸橋 奈々

◎⑮ 虐待防止・対策研修

期日・場所等	内 容
12月20日 新潟市 (受講者128名)	講義 「施設等における虐待防止と対応策を考える」 講義・演習 「事例を通して考える虐待予防策・対応策」 長野大学 社会福祉学部特任教授 萱津 公子

2 福祉職員研修受講支援事業の推進〈活動指針〉

社会福祉従事者に対し、学習や研修の機会をより幅広く一体的に提供することで、人材育成の促進を図った。

(1) 研修情報提供事業

社会福祉研修センターホームページに、県社協、県老人福祉施設協議会、県社会福祉士会、県介護福祉士会、県介護支援専門員協会及び県ヘルパー協議会の6福祉団体が主催する研修会を一体的に掲載し、県内社会福祉行政関係職員、社会福祉施設関係職員、市町村社会福祉協議会職員が、それぞれの専門分野、キャリアに応じた研修を受講できるよう情報提供を行った。

(2) 研修履歴管理システム活用事業

社会福祉研修センターホームページ上に、職員の研修履歴管理や職員に必要とされる研修を提案し、キャリアパスやスキルアップを支援するための研修受講履歴管理システムを構築、7月から運用を開始した。

(3) 福祉職員のための出前研修事業

人的余裕がなく外部研修への職員派遣が難しい小規模な福祉施設・事業所に対して出前研修を実施し人材育成を促進した。

期日・場所等	内 容
1月12日 新潟市 (7名)	訪問事業所：ジェイステージ株式会社 ファースト（就労継続支援A型） 講義・演習：「職員個人の資質および組織力の向上と目指すべきサービス提供のあり方について」 新潟医療福祉大学 社会福祉学科助教 丸山 仁
1月28日 新潟市 (6名)	訪問事業所：株式会社エスポワール あゆみ（就労継続支援A型） 講義・演習：「良好な人間関係を構築するためのスキル」 新潟しなの福祉会 地域生活支援センターふらっと 所長 坂井 省英
2月4日	訪問事業所：NPO 法人アピリティ燕

燕 市 (25名)	講義・演習：「コミュニケーションを強化し、チームワークを高めよう」 特定非営利活動法人新潟 NPO 協会理事 グローバルマーケティング（株）代表取締役 今井 進太郎
--------------	--

(4) 研修検討チームの開催

福祉団体事務局研修担当職員が、研修事業計画、ホームページ掲載内容等について情報共有を行った。

期日・場所等	協議事項
3月2日 新潟市	平成29年度研修事業計画について 団体研修カレンダーの実施状況と入力作業について

3 介護支援専門員の養成・資質向上推進事業

(1) 介護支援専門員実務研修受講試験

介護支援専門員になるために必要な実務研修の受講を希望する者に対し、事前に介護保険制度、要介護認定、居宅サービス計画等に関する専門知識を有しているかを確認するための試験を、新潟県の指定機関として実施した。

- ▶ 介護支援専門員実務研修受講試験等実施本部の設置
- ▶ 試験日 平成28年10月2日

【受験者及び合格者数等状況】

区 分	受験申込者数	受験者数	合格者数	合格率
人数・合格率	2,309名	2,138名	287名	13.4%

